

全国農業図書 お勧め図書一覧

2023年4月

- 1 「農業委員・推進委員」にお勧めする全国農業図書 1
- 2 「農業委員会事務局」にお勧めする全国農業図書（常備図書） 8
- 3 「農業者の啓発」をサポートするリーフレット（全国農業図書） 15
- 4 「市町村」にお勧めする全国農業図書 19
- 5 「地域リーダー」にお勧めする全国農業図書 23
- 6 「農業者」にお勧めする全国農業図書 25
- 7 「農業参入企業」にお勧めする全国農業図書 31
- 8 「新規就農者」にお勧めする全国農業図書 35
- 9 「農業高校生」にお勧めする全国農業図書 38
- 10 「農の雇用事業・雇用就農資金」関係図書 44

全国農業委員会ネットワーク機構

一般社団法人 全国農業会議所

「農業委員・推進委員」にお勧めする全国農業図書

令和 5 年 4 月
(一社) 全国農業会議所出版部

(価格はすべて10%税込・送料別)

【必携図書】

1. 農業委員会の制度・運営関係

- ① 2023 年度 農業委員会業務必携 90 号 (R05-10 A4 判約 160 頁 1,490 円)
(7 月刊行予定・画像は 2022 年度版)

農業委員会の役割と業務を豊富な事例を交えて解説した、委員のための必携図書です。30 の農業委員会の優良活動事例を収録しており、事例集としても意義のある図書になっています。今年度は「人・農地関連法」の見直しと農業委員会組織の課題、新たな農地利用最適化について特集しました。委員研修でも使いやすいように、各章冒頭にて「農業委員・推進委員の役割」を整理し、索引も設けています。



- ② 2023 年 農業委員会活動記録セット (R04-27 A4 判 112 頁 530 円)

農業委員会活動の「見える化」に向けて、委員の皆様には日々の活動を記録していただくことが重要です。

農地の集積・集約化、遊休農地の解消、新規就農・参入の推進などの農地利用最適化活動のほか、総会・部会等への出席や農地の権利移動・転用の現地確認などを簡潔に記録して、活動実績としてまとめることができます。



- ③ 2023 年 農業委員会手帳 (R04-35A, B, C, D ポケット判 640 円)

見開き 1 週間、前年 12 月始まりのダイアリーには、農業委員会活動の予定と結果を記入できます。農業委員・農地利用最適化推進委員の身分証明書付きなので、農地法に基づく立入調査など農業委員会活動の際の“身分証明”としてご活用いただけます。

付録資料として委員会制度の概要、農地法第 3・4・5 条の許可基準や基盤法の利用権設定の要件、遊休農地対策等の概要をコンパクトに掲載。



- ④ 2022 年度版 農家相談の手引～農地・経営対策に役立つ！ 支援制度の資料集～
(R04-14 A4 判 124 頁 850 円)

農業委員、農地利用最適化推進委員、地域農業のリーダーが農家から相談を受ける際、制度や施策を説明するための資料集として、あるいは農業に関するさまざまな制度を学ぶ手引書として活用できます。

「農地利用最適化」をはじめとする農業委員・推進委員の役割、「人・農地プラン」の実質化など農地と担い手の確保、経営継承や農業者年金など農業者の経営発展、国による支援制度に関する事項を収録しています。



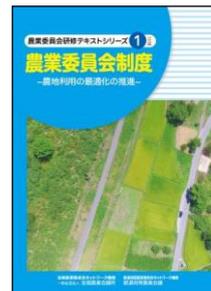
2. 農業委員会研修テキスト関係

研修教材として、総会・部会等における参考資料として、幅広く活用できる内容です。

① 農業委員会制度～農地利用の最適化の推進～

(R03-34 A4判 28頁 370円)

新たな農業委員会制度の概要と農業委員・農地利用最適化推進委員・農業委員会の業務についてわかりやすく説明したテキストです。令和4年4月施行の農地利用最適化推進委員の定数基準の緩和など最新の制度改正を反映しました。 **※令和5年6月に改訂版刊行予定**



② 農地法

(R03-23 A4判 38頁 480円)

農地制度の概要、農地法にもとづく農業委員会・農業委員等の業務についてわかりやすく説明したテキストです。研修教材として、総会・部会等での参考資料として幅広く活用できる内容です。令和3年「遊休農地に関する措置」等を反映した最新版です。

※令和5年6月に改訂版刊行予定



③ 農地関連法制度

(R02-08 A4判 20頁 320円)

農地法に関連する基盤法、中間管理法、農振法を中心に、特定農地貸付法や、市民農園整備促進法、土地改良法などについて、その基本的な仕組みとともに、農業委員会の役割についてわかりやすく解説しました。農業委員等を対象とした研修会等でご活用ください。

※令和5年6月に改訂版刊行予定



④ 新訂 農業委員・推進委員活動マニュアル (R05-07 A4判約 60頁 660円)

(5月刊行予定・画像は旧版)

農業委員・推進委員が活動するために必須の情報を盛り込んだマニュアル書。農業委員会の必須業務である「農地利用の最適化」に取り組むための基礎知識に加え、現場での実践的な行動の仕方についても解説します。



【重点図書】

1. 農業委員会の制度・運営関係

農業委員会法の解説 改訂9版 (28-12 A5判 538頁 3,055円)

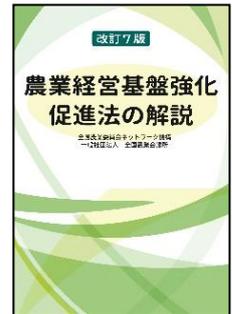
農業委員会法の逐条解説です。農委法の改正に伴い、農業委員会ネットワーク機構を含む農業委員会組織と制度、農業委員と農地利用最適化推進委員の役割・連携、農業委員会業務の重点化等を反映。農地中間管理事業法制定など平成25年以降の農委法改正の経緯を追加し、従来の通知も資料篇として掲載しています。



2. 構造政策・農地流動化・農業経営基盤強化（法）関係

① 農業経営基盤強化促進法の解説 改訂7版 (R03-12 A5判 607頁 3,800円)

基盤法の条文ごとの解説と改正経過を掲載。今回の改訂では、平成30年改正（共有者不明農用地等に係る農用地利用集積計画の同意手続の特例制度の創設）及び令和元年改正（農地利用集積円滑化事業の農地中間管理事業への統合・一体化、子会社兼務役員の常時従事要件の特例創設等）を反映しています。 **※令和5年度中に改訂版刊行予定**



② 農業経営基盤強化促進法 一問一答集 改訂三版 (R02-26 A5判 324頁 2,500円)

「共有者不明農用地等同意手続き特例制度」「認定農業者制度の見直し（国・都道府県認定）」「特例農用地利用規程」など最新制度を加えた改訂三版です。制度運用で疑問にぶつかったときの手引きとなるよう一問一答形式でわかりやすく解説。設問数を21増やし（全260問）、さらに充実した内容になっています。

地域で農業の振興に携わる市町村や都道府県の担当者、関係機関・団体の関係者など多くの皆様にご活用いただける一冊です。

※令和5年度中に改訂版刊行予定



③ 農業経営基盤強化促進法等 2022年改正のあらまし (R04-31 A4判・32頁 550円)

将来の農地利用の姿を明確化する「地域計画」を定め、農地の受け手を幅広く確保しながら農地バンクを活用した農地の集約化・効率利用を進める農業経営基盤強化促進法等の一部改正法のうち、農業委員会組織に関係の深い改正内容について法律・政省令、通知等を分かりやすく説明した小冊子です。



④ 改訂版 地域（集落）の未来設計図を描こう！ 【全国農業図書ブックレット15】 澤畑 佳夫 著 (R02-30 A5判 72頁 700円)

茨城県東海村農業委員会の元事務局長で、現在は全国農業会議所の専門相談員の澤畑氏が、「地域（集落）の話し合いの進め方」について、これまでの座談会や講演会、研修会などの経験を踏まえて具体的に何をすべきか、現場出身者ならではの目線で伝えるブックレット。座談会成功のコツをわかりやすくまとめた一冊です。



⑤ 全員が発言する座談会が未来の地域（集落）をつくる 【全国農業図書ブックレット16】 釘山 健一/小野寺 郷子 著 (R02-31 A5判 104頁 900円)

会議ファシリテーター普及協会（MFA）の釘山健一氏と小野寺郷子氏が人・農地プランの実質化のための座談会の進め方を丁寧に解説。本書では、「参加者が楽しく積極的に発言できる座談会」の作り方をMFAが試行錯誤しながら培った「理論」に基づいてわかりやすく解説しています。



⑥ 「地域まるっと中間管理方式」とは？

～農地中間管理事業をフル活用！～

【全国農業図書ブックレット 18】

可知 祐一郎 著

(R03-25 A5判 74頁 700円)

農地の集積・集約化をはじめ、担い手の確保・育成や魅力ある地域づくりを実現する手法として注目を集めている「地域まるっと中間管理方式」。本書では、取り組みの方法を実際の事例を挙げながら実践的に学ぶことができます。



3. 農地・農地法・農振法関係

⑦ 農地法の解説 改訂三版

(R03-14 A5判 542頁 3,600円)

法律の条文ごとに、政令、省令、事務処理基準、運用通知、事務処理要領などの基本的な通知をはじめ、過去の通達や照会への回答、判例等も引用し、順序立てて農地法の全体像を基礎から詳細までわかりやすく説明した解説書です。改訂二版から 60 頁増やしてさらにパワーアップ。

※令和 5 年度中に改訂版刊行予定



⑧ 新・よくわかる農地の法律手続き～関係判例付～ 改訂 4 版

(R02-33 A4判 168頁 2,200円)

平成 30 年、令和元年の農地制度改正等に対応し、全体を再整理・改訂しました。

農地の法律手続きのうち頻度の高い農地の売買・貸借、農地以外への転用、市民農園の開設等について、「これだけは知っておきたい」ことを、手続きの流れ図、申請書の記載例、判例等を交えて解説しています。

※令和 5 年度中に改訂版刊行予定



⑨ 農地転用許可制度の手引 改訂 7 版

(R02-39 B5判 196頁 1,200円)

農地転用許可制度を詳しく、分かりやすく解説した手引書。7 回目となる改訂により、さらに充実しました。

農地法、同施行令・施行規則の規定をベースに、農地法関係通知の記載内容を交えて具体的に解説。長年にわたり関係者等から好評を得ています。



⑩ 新 農地全書 第 8 版

(31-46 A5判 243頁 2,400円)

農地の売買、転用、貸借、相続・贈与、登記、保証・収容、紛争処理関係など、農地に関する様々な相談を問答形式で分かりやすくまとめた一冊です。第 8 版では、平成 30 年農地制度改正及び相続・債権に關係する民法改正を踏まえた改訂を行っています。

※令和 5 年度中に改訂版刊行予定



⑪ 新・農地の法律がよくわかる百問百答 改訂 3 版

(R03-15 A5判 387頁 2,400円)

農地法、基盤法、農地中間管理法、特定農地貸付法、市民農園整備促進法といった農地に関わる法律制度ごとに、わかりやすく解説。農家から寄せられる相談に解答する際に力強い味方となります。改訂 3 版では新たに生産緑地法、都市農地貸借円滑化法の 2 法の問答を追加しました。

※令和 5 年度中に改訂版刊行予定



⑫ **ストップ！遊休農地** (R04-32 A4判 8頁 100円)

遊休農地の分類と判断基準例、遊休農地所有者への対応とともに、利用意向調査、勧告、農地中間管理権の設定などの法的措置について説明。所有者不明農地や共有農地の権利設定についても分かりやすく解説しています。遊休農地への課税については [Q&A方式] で詳しく掲載しました。



4. **農業法人等関係**

① **Q&A 農業法人化マニュアル 改訂第6版** (R04-37 A4判 108頁 900円)

農業経営の法人化を志向する農業者を対象に、法人化の目的やメリット、法人の設立の仕方、法人化に伴う税制や労務管理上の留意点などの疑問を一問一答形式で解説。改訂第6版では、農業経営の発展過程と法人化を踏まえた経営理念・経営戦略立案の重要性などを追加したほか、法人関係の諸制度や税金・社会保険料等について見直しました。



5. **経営関係**

① **令和4年度版 よくわかる農家の青色申告** (R04-08 A4判 127頁 900円)

青色申告制度、申告の手続き、記帳の実務、確定申告書の作成から申告までを網羅、各種様式の記入例をまじえて、ていねいに解説した最新版の入門書です。

令和4年度版は、農業経営基盤強化準備金の対象者を人・農地プランの中心経営体とするなどの制度改正を反映。確定申告書の様式変更に伴う記載例・説明も見直しています。



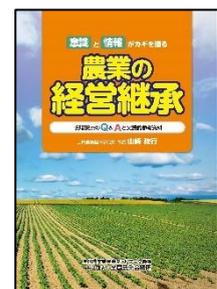
② **令和4年度版 農家のためのなんでもわかる 農業の税制** (R04-07 A5判 180頁 1,140円)

農業収入や農地等に係る所得税、法人税、相続税、贈与税のほか、消費税とその軽減税率制度の概要と解説も掲載。農業関係の税金を、農地集積・集約化、後継者対策など経営発展を後押しする特例措置など最新の税制を網羅して、わかりやすく解説しています。第2部の「農地税制Q&A」では、照会の多い質問にていねいに答えています。



③ **意識と情報がカギを握る 農業の経営継承** 山崎 政行 著 (R03-36 A4判 116頁 1,500円)

親子間継承、第三者継承、法人内継承、M&Aなど、あらゆる農業経営の継承についてQ&A方式で解説した一冊。巻末には経営継承の推進活動で実際に使用している資料を惜しみなく掲載。執筆は山崎農業経済研究所の山崎政行氏。経営継承に関わる全ての人に役立つ内容です。



6. 担い手育成関係

【パンフ】「家族経営協定」で新しい時代をひらく

(31-32 A4判 12頁 160円)

農業経営や暮らしの現状確認を出発点に、世代や男女を問わず対等な立場で話し合い夢を実現する「家族経営協定」づくりのポイントや制度上のメリットを、東京農業大学の五條満義准教授が農家向けに書き下ろしたパンフレットです。5年ぶりにリニューアル。



7. 農業者年金関係

農業者年金制度と加入推進 2023年度版 (4月刊行予定・画像は2022年度版)

(R05-03 A4判約70頁 550円)

農業者年金基金主催の研修会の教材としても活用される加入推進の公式テキストです。加入推進の基本である「農業者年金の必要性和魅力を伝えること」に始まり、制度の概要とその特徴についてわかりやすく説明。加入推進目標に基づく加入推進活動の具体的方法や各地の取組事例も収録し、加入推進にかかわる方々にとって必携の一冊です。

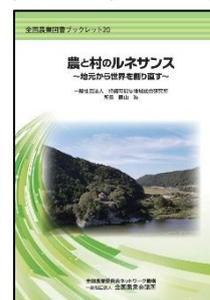


8. 農政関係・その他

① 農と村のルネサンス～地元から世界を創り直す～ 【全国農業図書ブックレット20】

藤山浩 著 (R04-38 A5判 135頁 880円)

地球温暖化をはじめとする環境問題は、日本社会が高度経済成長期以降の「大規模・集中・グローバル」から脱却し、「小規模・分散・ローカル」な循環型社会へ移行することを促しています。都会への一極集中を解消し、循環型社会を実現するためにすべきことは何か——地方創生研究の第一人者で、日本中を飛び回って支援を行っている筆者が、各地の事例をもとに分析します。



② 【パンフ】令和5年度 経営所得安定対策と米政策 (R04-25 A4判 16頁 110円)

令和5年度の主食用米の需給安定のためには、作付け転換等に向けた政策に加え、関係者が一丸となって適正生産量を目指す取り組みが欠かせません。ゲタ・ナラン対策、収入保険制度などの仕組みとメリットも紹介しており、これらの制度についての普及啓発資料としてもご活用いただけます。



【お勧めリーフレット】

1. 農業委員会の制度・運営関係

① 【リーフ】活動記録簿 記録ガイド (R04-12 A4判 8頁 100円)

農業委員会活動の「見える化」のために、活動記録簿への記入を呼びかけるリーフレットです。活動記録を付ける意義や書き方をわかりやすく説明。農業委員・農地利用最適化推進委員の研修会等でもご活用いただけます。



② 【リーフ】今こそ農業委員会に女性の力を！（R04-17 A4判 4頁 50円）

農業委員会への女性の参画を促すリーフレットです。第5次男女共同参画基本計画においても、女性農業委員の割合を30%まで上昇させることが目標として設定されています。女性委員のネットワークの紹介や実際に活躍されている地域の事例も盛り込みました。



③ 【リーフ】農業委員会はこんな活動をしています

～がんばっています！農業委員・推進委員～ (31-24 A4判 4頁 45円)

「地域農業の振興」や「農地法等の農地行政の執行」、「農業の担い手支援」等に取り組んでいる農業委員会／農業委員・農地利用最適化推進委員の基本的な役割や主な活動について、イラスト入りでわかりやすく示したリーフレットです。地域の方々への農業委員会活動の紹介や、農業委員・推進委員の推薦・公募の際の周知に最適です。農業委員・推進委員の研修資材などにも活用いただけます。



2. 構造政策・農地流動化・経営基盤強化(法)関係

① 【リーフ】2022年度版 地域農業の将来を考慮してみませんか

～進めよう！「人・農地プラン」の実質化 備えよう！「地域計画」～
(R04-13 A4判 8頁 100円)

「人・農地プランとは何か」から、地域の関係機関が一体となって取り組むべき「意向把握」や「話し合い活動」などの『人・農地プラン実質化』のための流れを5つのステップに分けて説明したリーフレットです。令和5年4月1日から「人・農地プラン」の名称が「地域計画」に変わること等を踏まえ、今後の農業委員会が果たすべき役割についての解説も盛り込んでいます。



② 【リーフ】ここが変わる 農業経営基盤強化促進法等の一部改正

(R04-30 A4判 12頁 140円)

令和5年4月1日に施行される農業経営基盤強化促進法の改正等について解説したリーフレットです。

ポイントを「人・農地プランが地域計画として法定化」「農地の集約化等の手法」「人の確保・育成」の3つに絞り、知っておきたい情報を厳選して説明しています。



「農業委員会事務局」にお勧めする全国農業図書（常備図書）

令和 5 年 4 月
(一社)全国農業会議所出版部

(価格はすべて 10%税込・送料別)

1. 農業委員会の制度・運営関係

① 2022 年度版 農家相談の手引～農地・経営対策に役立つ！ 支援制度の資料集～ (R04-14 A4判 124 頁 850 円)

農業委員、農地利用最適化推進委員、地域農業のリーダーが農家から相談を受ける際、制度や施策を説明するための資料集として、あるいは農業に関するさまざまな制度を学ぶ手引書として活用できます。

「農地利用最適化」をはじめとする農業委員・推進委員の役割、「人・農地プラン」の実質化など農地と担い手の確保、経営継承や農業者年金など農業者の経営発展、国による支援制度に関する事項を収録しています。



② 農業委員会法の解説 改訂9版(28-12 A5判 538 頁 3,055 円)

農業委員会法の逐条解説です。農委法の改正に伴い、農業委員会ネットワーク機構を含む農業委員会組織と制度、農業委員と農地利用最適化推進委員の役割・連携、農業委員会業務の重点化等を反映。農地中間管理事業法制定など平成 25 年以降の農委法改正の経緯を追加し、従来の通知も資料篇として掲載しています。



③ 農業委員会業務推進マニュアル 改訂7版(30-03 A4判 441 頁 7,334 円)

“農業委員会業務のバイブル”ともいわれる本書。平成 27 年の農業委員会法の抜本改正等を踏まえて、最新制度に対応した改訂を行いました。各種業務に関わる法律事項の解説、関係様式、業務フローを 1 冊にまとめました。様式を収録した CD-ROM 付き。すべての農業委員会、すべての支所に必置のマニュアルです！



④ こんなときどうする？農業委員会の運営実務Q&A 改訂六版

(R03-37 A5判 264 頁 2,100 円)

農業委員会の実務に関わる 228 の疑問をわかりやすく解説。平成 28 年に施行された改正農業委員会法に対応した内容となっており、巻末には主な通知を収録しています。農業委員会事務局職員必携の書です。



2. 農業委員会研修テキスト関係

研修教材として、総会・部会等における参考資料として、幅広く活用できる内容です。

① 農業委員会制度－農地利用の最適化の推進－

(R03-34 A4判 28 頁 370 円)

新たな農業委員会制度の概要と農業委員・農地利用最適化推進委員・農業委員会の業務についてわかりやすく説明したテキストです。令和 4 年 4 月施行の農地利用最適化推進委員の定数基準の緩和など最新の制度改正を反映しました。 ※令和 5 年 6 月に改訂版刊行予定



② 農地法 (R03-23 A4判 38頁 480円)

農地制度の概要、農地法にもとづく農業委員会・農業委員等の業務についてわかりやすく説明したテキストです。研修教材として、総会・部会等での参考資料として幅広く活用できる内容です。令和3年「遊休農地に関する措置」等を反映した最新版です。

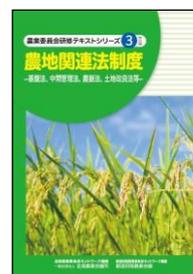
※令和5年6月に改訂版刊行予定



③ 農地関連法制度 (R02-08 A4判 20頁 320円)

農地法に関連する基盤法、中間管理法、農振法を中心に、特定農地貸付法や、市民農園整備促進法、土地改良法などについて、その基本的な仕組みとともに、農業委員会の役割についてわかりやすく解説しました。農業委員等を対象とした研修会等でご活用ください。

※令和5年6月に改訂版刊行予定



④ 新訂 農業委員・推進委員活動マニュアル (5月刊行予定・画像は旧版)
(R05-07 A4判約60頁 660円)

農業委員・推進委員が活動するために必須の情報を盛り込んだマニュアル書。農業委員会の必須業務である「農地利用の最適化」に取り組むための基礎知識に加え、現場での実践的な行動の仕方についても解説します。



3. 構造政策・農地流動化・農業経営基盤強化(法) 関係

① 農業経営基盤強化促進法の解説 改訂7版 (R03-12 A5判 607頁 3,800円)

認定農業者、認定新規就農者など担い手の育成と農地集積等の支援を目的とする農業経営基盤強化促進法について、条文ごとの詳しい解説と改正経過を掲載。最新の法令と通知も盛り込んでいます。今回の改訂では、平成30年改正(共有者不明農用地等に係る農用地利用集積計画の同意手続の特例制度の創設)及び令和元年改正(農地利用集積円滑化事業の農地中間管理事業への統合・一体化、子会社兼務役員の常時従事要件の特例創設等)を反映。通知改正を踏まえ解説を充実させています。

※令和5年度中に改訂版刊行予定



② 農業経営基盤強化促進法 一問一答集 改訂三版 (R02-26 A5判 324頁 2,500円)

「共有者不明農用地等同意手続き特例制度」「認定農業者制度の見直し(国・都道府県認定)」「特例農用地利用規程」など最新制度を加えた改訂三版です。制度運用で疑問にぶつかったときの手引きとなるよう一問一答形式でわかりやすく解説。設問数を21増やし(全260問)、さらに充実した内容になっています。

地域で農業の振興に携わる市町村や都道府県の担当者、関係機関・団体の関係者など多くの皆様にご活用いただける一冊です。

※令和5年度中に改訂版刊行予定



③ 農業経営基盤強化法等 2022 年改正のあらまし

(R04-31 A4 判約 30 頁 550 円)

農業経営基盤強化促進法等の一部改正法のうち、農業委員会組織に
関係の深い改正内容について法律・政省令、通知などを踏まえ分かり
やすく説明。「人・農地プランの地域計画としての法定化」「農地の集
約化等」「人の確保・育成」を地域でどう進めていくか、具体的に整
理しています。



④ 改訂版 地域(集落)の未来設計図を描こう! 【全国農業図書ブックレット 15】

澤畑 佳夫 著 (R02-30 A5 判 72 頁 700 円)

茨城県東海村農業委員会の元事務局長で、現在は全国農業会議所の
専門相談員の澤畑氏が、「地域(集落)の話し合いの進め方」につい
て、これまでの座談会や講演会、研修会などの経験を踏まえて具体的
に何をすべきか、現場出身者ならではの目線で伝えるブックレット。
改訂版となる本書では、冒頭で新たに解説と推薦文を加えたほか、座
談会前に取り組むべき準備についても解説しました。座談会成功のコ
ツをわかりやすくまとめた一冊です。



⑤ 全員が発言する座談会が未来の地域(集落)をつくる 【全国農業図書ブックレット 16】

釘山 健一/小野寺 郷子 著 (R02-31 A5 判 104 頁 900 円)

会議ファシリテーター普及協会(MFA)の釘山健一氏と小野寺
郷子氏が人・農地プランの実質化のための座談会の進め方を丁寧に
解説。本書では、「参加者が楽しく積極的に発言できる座談会」のつ
くり方をMFAが試行錯誤しながら培った「理論」に基づいてわか
りやすく解説しています。



⑥ 「地域まるっと中間管理方式」とは? 【全国農業図書ブックレット 18】

～農地中間管理事業をフル活用!～ 可知 祐一郎 著

(R03-25 A5 判 74 頁 700 円)

農地の集積・集約化をはじめ、担い手の確保・育成や魅力ある地域
づくりを実現する手法として注目を集めている「地域まるっと中間管
理方式」。本書では、取り組みの方法を実際の事例を挙げながら実践
的に学ぶことができます。



4. 農地・農地法・農振法関係

① 農地法の解説 改訂三版 (R03-14 A5 判 542 頁 3,600 円)

法律の条文ごとに、政令、省令、事務処理基準、運用通知、事務
処理要領などの基本的な通知だけでなく、過去の通達や照会への回
答、判例等も引用し、順序立てて農地法の全体像を基礎から詳細ま
でわかりやすく説明した解説書です。改訂二版から 60 頁増やしてさ
らにパワーアップ。

※令和 5 年度中に改訂版刊行予定



- ② **新・農地の法律早わかり！ 改訂5版**(R02-32 A4判62頁 850円)
 「農地法から基盤法、中間管理法、農振法、市民農園法まで、コンパクトにまとまっていて分かりやすい！」と好評を得てきた本書が、農地制度改正に対応した改訂5版として登場。

農地の法律について図表を用いて分かりやすく紹介しており、初心者から実務者まで広く活用いただける一冊です。

※令和5年度中に改訂版刊行予定



- ③ **新・よくわかる農地の法律手続き－関係判例付－ 改訂4版**
 (R02-33 A4判168頁 2,200円)

平成30年、令和元年の農地制度改正等に対応し、全体を再整理・改訂しました。

農地の法律手続きのうち頻度の高い農地の売買・貸借、農地以外への転用、市民農園の開設等について、「これだけは知っておきたい」ことを、手続きの流れ図、申請書の記載例、判例等を交えて解説しています。

※令和5年度中に改訂版刊行予定



- ④ **農地転用許可制度の手引 改訂7版**(R02-39 B5判196頁 1,200円)
 農地転用許可制度を詳しく、分かりやすく解説した手引書。7回目となる改訂により、さらに充実しました。

農地法、同施行令・施行規則の規定をベースに、農地法関係通知の記載内容を交えて具体的に解説。長年にわたり関係者等から好評を得ています。



- ⑤ **農地転用許可制度マニュアル 改訂3版**
 (R02-40 A4判29頁 540円)

農地転用許可制度の概要をわかりやすく解説したマニュアルです。農地法、同施行令・施行規則の規定をベースに、豊富なイラストや許可申請書・届出書を加えて解説。とくに農用地区域内の農地を転用する場合の農用地利用計画の変更・農用地区域からの除外と、転用許可までの手続きが充実しています。



- ⑥ **【リーフ】農地転用許可制度のあらまし** (R02-41 A4判8頁 100円)

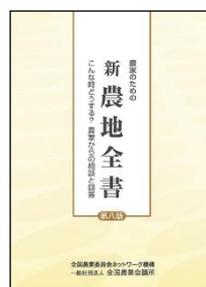
農地転用許可制度のあらましをオールカラーのイラストや写真で説明した8ページのリーフレット。制度の概要をはじめ農地区分と要件、農地区分ごとの許可の方針、審査事項(立地基準、一般基準)や審査事務の流れなどをビジュアルにまとめています。



- ⑦ **新農地全書 第8版** (31-46 A5判243頁 2,400円)

売買、貸借や転用、相続・贈与など多岐に渡る農地に関する相談に対応するには、農地法や中間管理事業法、基盤法、農振法だけでなく、民法、都市計画法、国土法など様々な制度に関する知識が必要です。これら農地に関する相談を問答形式でまとめた、昭和47年の刊行以来のロングセラーです。

※令和5年度中に改訂版刊行予定



⑧ 新・農地の法律がよくわかる百問百答 改訂3版

(R03-15 A5判 387頁 2,400円)

農地法、基盤法、農地中間管理法、特定農地貸付法、市民農園整備促進法といった農地に関わる法律制度ごとに、わかりやすく解説しています。今回の改訂では、平成30年、令和元年の農地制度改正等を反映しているほか、統計数字も最新のデータに見直しを行っています。

※令和5年度中に改訂版刊行予定



5. 農業法人等関係

① 3訂 農業法人の設立

(R04-36 A4判約 220頁 2,200円)

農地所有適格法人の要件と法人形態の選択、会社法人と組合法人の比較、法人の設立手続き、農業法人の税・資金と労務対策などを詳しく解説した実務書です。3訂では、農業経営の発展過程と法人化を踏まえた経営理念・経営戦略立案の重要性、合同会社の設立手続きなどを追加予定です。



② Q&A 農業法人化マニュアル 改訂第6版 (R04-37 A4判 108頁 900円)

農業経営の法人化を志向する農業者を対象に、法人化の目的やメリット、法人の設立の仕方、法人化に伴う税制や労務管理上の留意点などの疑問を一問一答形式で解説。改訂第6版では、農業経営の発展過程と法人化を踏まえた経営理念・経営戦略立案の重要性などを追加予定です。



6. 経営関係

① 令和4年度版 よくわかる農家の青色申告 (R04-08 A4判 127頁 900円)

青色申告制度、申告の手続き、記帳の実務、確定申告書の作成から申告までを網羅、各種様式の記入例をまじえて、ていねいに解説した最新版の入門書です。

令和4年度版は、農業経営基盤強化準備金の対象者を人・農地プランの中心経営体とするなどの制度改正を反映。確定申告書の様式変更に伴う記載例・説明も見直しています。



② 令和4年度版 農家のためのなんでもわかる 農業の税制

(R04-07 A5判 180頁 1,140円)

農業収入や農地等に係る所得税、法人税、相続税、贈与税のほか、消費税とその軽減税率制度の概要と解説も掲載。農業関係の税金を、農地集積・集約化、後継者対策など経営発展を後押しする特例措置など最新の税制を網羅して、わかりやすく解説しています。第2部の「農地税制Q&A」では、照会の多い質問にていねいに答えています。



③ 2022年版 勘定科目別農業簿記マニュアル 青色申告から経営改善につなぐ
(R04-16 A4判 234頁 2,160円)

企業会計に即して記帳する場合のポイントを勘定科目ごとに整理。「わからないとき」に必要な部分が参照しやすく、農業簿記の“辞典”として活用できます。記帳の中から自己の経営をチェックする方法も解説した本書は、経営の改善につながる農業簿記の実務書や研修会のテキストとして適しています。最新の申告書や決算書に基づく記入例も掲載。執筆者は税理士の森剛一氏。



④ 3訂 複式農業簿記実践テキスト
(R04-26 A4判 135頁 1,700円)

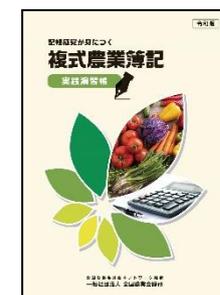
簿記記帳のイロハから実務まで網羅した手引書です。特に学習のヤマ場といわれる「仕訳」で多くの仕訳例を掲載。今回の改訂では、農業経営基盤強化準備金を取り崩して固定資産を購入する場合の設例を法改正に合わせて修正し、所得税青色申告決算書を最新様式に差し替えて記入例を更新しました。



⑤ 令和版 記帳感覚が身につく 複式農業簿記実践演習帳
(R03-08 A4判 48頁 420円)

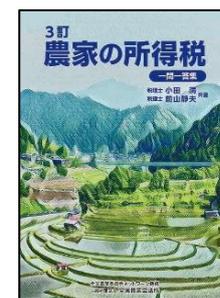
「3訂 複式農業簿記実践テキスト」に対応した実践的な演習帳。テキストによる学習と併せて演習問題にチャレンジすることで、学習効果が飛躍的に高まります。

テキストの対応ページを記載した問題と解答を本冊に収録。別冊の解答用紙は切り離して利用できます。



⑥ 3訂 農家の所得税 一問一答集
(R04-21 A5判 363頁 2,860円)

所得税の計算の仕組みや手続きを中心に、相続税や贈与税など農家の関心が高い税目について一問一答形式で幅広く解説。インボイス制度の導入に伴い注目される消費税関係の30問も追加しました。セルフメディケーション税制やひとり親控除など最新の税制に加え、国税電子申告に関わる新たな動きも取り上げています。著者は元国税庁の税理士・小田満氏、前山静夫氏。



⑦ 改訂 農業者の消費税～届出から申告・納付まで～
(R04-24 A4判105頁 900円)

消費税の仕組みや確定申告書の作成などを解説した手引書です。制度の概要や提出書類といった基礎的な内容に加え、日常の経理処理と勘定科目別「課税取引」「課税取引以外の取引」の具体例、JA等への農畜産物委託販売に係る課税売上の計算方法などを解説しています。



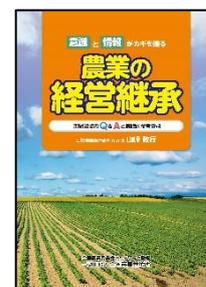
⑧ 一般社団法人による集落営農・農村RMO設立・運営の手引
(R04-29 A4判 96頁 1,100円)

今後の農村政策の一つの柱として期待が寄せられている、農村RMO（農村型地域運営組織）。農村RMOが展開する活動は多種多様であり、それぞれの実情にあわせて法人形態を選択することが大切です。一般社団法人のメリット・デメリットや設立・運営の仕方を他の法人形態と比較しながら解説しました。



⑨ 意識と情報がカギを握る 農業の経営継承
(R03-36 A4判 116頁 1,500円)

親子間継承、第三者継承、法人内継承、M&Aなど、あらゆる農業経営の継承についてQ&A方式で解説した一冊。巻末には経営継承の推進活動で実際に使用している資料を惜しみなく掲載。執筆は山崎農業経済研究所の山崎政行氏。



7. 担い手育成関係

新規就農ガイドブック (R04-20 A5判・48頁 730円)

就農までの道筋を具体的にイメージするために必要となる農業に関する基礎知識や注意点について、図表を多く用いてわかりやすくまとめました。就農地や作目の選択をはじめ、資金・農地の確保の仕方、営農技術の習得方法まで幅広く紹介しています。監修は全国新規就農相談センター。



8. 農業者年金関係

① 農業者年金制度と加入推進 2023年度版 (4月刊行予定・画像は2022年度版)
(R05-03 A4判約70頁 550円)

農業者年金基金主催の研修会の教材としても活用される加入推進の公式テキストです。加入推進の基本である「農業者年金の必要性和魅力を伝えること」に始まり、制度の概要とその特徴についてわかりやすく説明。加入推進目標に基づく加入推進活動の具体的方法や各地の取組事例も収録し、加入推進にかかわる方々にとって必携の一冊です。



② 農業者年金加入推進事例集 VOL.15
(R04-20 A5判・48頁 730円)

農業者年金の加入推進に大きな成果を上げた農業委員会・JAの取り組みの最新事例を紹介。最前線で活躍する加入推進部長や農業委員会組織、JAグループのリーダー等による農業者への制度周知や加入のノウハウが満載。



「農業者の啓発」をサポートするリーフレット（全国農業図書）

令和5年4月
(一社)全国農業会議所出版部

(価格はすべて10%税込・送料別)

1. 構造政策・農地流動化・経営基盤強化促進法関係

【リーフ】農業経営基盤強化促進法等の一部改正 (R04-30 A4判12頁140円)

令和5年4月1日に施行される農業経営基盤強化促進法の改正等について説明したリーフレットです。ポイントを「人・農地プランが地域計画として法定化」「農地の集約化等の手法」「人の確保・育成」の3つに絞り、知っておきたい情報を厳選しました。



【リーフ】2022年度版 地域農業の将来を考えてみませんか！

～進めよう！「人・農地プラン」の実質化 備えよう！「地域計画」～
(R04-13 A4判8頁100円)

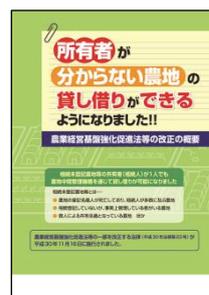
人・農地プラン実質化のための流れを5つのステップに分けて説明したリーフレットです。令和5年4月1日から「人・農地プラン」の名称が「地域計画」に変わること等を踏まえ、今後の農業委員会が果たすべき役割についての解説も盛り込んでいます。



【リーフ】所有者が分からない農地の貸し借りができるようになりました!!

—農業経営基盤強化促進法等の改正の概要— (30-26 A4判6頁75円)

「基盤法」に基づく、相続未登記など所有者の一部や全部が分からない農地を、簡易な手続きで農地中間管理機構を通じて貸し付けることができる仕組みの概要と手続き、農業委員会による所有者の探索方法と同意取得の対応をコンパクトに解説しました。また、所有者が誰も分からない場合など、農地法に基づく貸し借りの簡素化された手続きについても掲載しています。



2. 農地・農地法・農振法関係

【リーフ】農業者の皆さまへ 相続登記の申請が義務化されます！ (R03-30 A4判2頁20円)

相続登記の申請が令和6年4月から義務化されます。義務化の施行日前に発生した相続についても施行日から3年以内の登記申請が義務付けられるため、早めに法務局で相続登記を行うよう農業者に呼びかけるリーフレットです。



【リーフ】農地パトロール（利用状況調査）と利用意向調査が新しくなりました
—農業委員会が進める遊休農地解消と担い手への農地集積—（R03-17 A4判6頁 75円）

農地パトロールから農地所有者等への意向調査、農地中間管理機構との協議勧告など、遊休農地の解消と担い手への農地集積に向けた農業委員会の活動を簡潔にまとめたリーフレット。令和3年度から新しくなった利用状況調査（新たに確認する項目、遊休農地等の新たな区分、判定事例等）、実施時期が前倒しされた利用意向調査・協議勧告などを盛り込んだ最新版です。



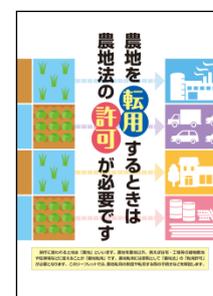
【リーフ】ストップ！ 遊休農地 （R04-32 A4判8頁 100円）

遊休農地の発生防止と解消を推進し、農地を守ることを呼びかけるリーフレットです。農地所有者向けには利用意向調査、勧告、農地中間管理権の設定など法的措置を説明。所有者不明や共有農地の権利設定や遊休農地の分類と判断基準例、農地の保全・利活用を支援する施策なども掲載しています。遊休農地所有者への意向確認、集落座談会等での啓発資料などにご活用ください。



【リーフ】農地を転用するときは農地法の許可が必要です（31-29 A4判4頁 45円）

農地転用には許可が必要です。許可の基準や手続き、違反転用への罰則などをわかりやすく説明しています。農業用ハウスの底面を全面コンクリート張りした場合の取り扱いも解説。農地転用の申請者に示して説明したり、違反転用者への指導にあたって配布するなどしてご活用ください。



3. 経営関係

【リーフ】農業者年金で老後の生活を安心サポート（R05-04 A4判2頁 20円）
 （5月刊行予定・画像は2022年度版）

農業者年金への加入の必要性和制度のメリットを伝えるリーフレットです。保険料負担に対して社会保険料控除のメリットが活用できるなど農業者年金の6つの特徴を説明。戸別訪問など農業者年金の加入推進活動や制度周知のための研修会に役立つ農業者向けのアイテムです。



【リーフ】2023年度版 — 6つの特徴とメリット — (R05-05 A4判 4頁 45円)

(5月刊行予定・画像は2022年度版)

農業者年金の加入推進用リーフレット。少子高齢時代に強い年金であり、保険料額は自由に決められること、終身年金で80歳までの保証付き、公的年金ならではの税制の優遇措置、担い手への保険料補助等のメリットをわかりやすく説明し、年金額の試算表も掲載しています。



【リーフ】2023年度版 農業者年金 一年金の仕組みとメリット — (R05-06 A4判 8頁 90円)

(5月刊行予定・画像は2022年度版)

農業者年金の魅力やメリット、政策支援を受ける要件などを紹介した、農業者向けの加入推進用リーフレットです。老後生活の現状から見る農業者年金の必要性についても解説した詳細版です。



【リーフ】準備ができていますか？消費税のインボイス制度

(R04-23 A4判 8頁 100円)

消費税のインボイス制度（適格請求書等保存方式）導入で迫られる課税事業者となるか否かの選択。課税事業者、簡易課税事業者、免税事業者となっている農業者の対応や、免税事業者があえて課税事業者を選択し、発行事業者として登録を受ける際の総合的判断のポイントを整理しました。



【パンフ】まんがでわかる！農業者年金 (R04-09 A4判 16頁 210円)

農業者年金をまんがで紹介したリーフレットです。少子高齢時代に強い年金であり、保険料額は自由に決められること、終身年金で80歳までの保証付き、公的年金ならではの税制の優遇措置、担い手への保険料補助など6つの特徴や令和4年以降の制度改正についてもわかりやすく紹介しています。



【リーフ】改訂2版 農地等の相続税・贈与税納税猶予制度をご存じですか (31-23 A4判 8頁 90円)

相続税・贈与税納税猶予制度の概要、相続税納税猶予額の計算例などを解説、相続時精算課税制度も収録しています。31年の税制改正の「事業承継税制」の創設を反映した最新版です。



【リーフ】地域農業の担い手 「認定農業者」(R03-26 A4判 12頁 110円)

認定農業者制度の概要やメリットを伝え、認定農業者になることを勧めるリーフレットです。認定農業者になるための要件や、なった場合の主な支援措置、2020年4月から始まった国・都道府県認定とそれに伴う電子申請などについて説明しています。農業経営改善計画の様式と記載上の注意点も収録。



4. 農業委員会の制度・運営関係

【リーフ】農業委員会はこの活動をしています

～がんばっています！農業委員・推進委員～(31-24 A4判4頁 45円)

「地域農業の振興」や「農地法等の農地行政の執行」、「農業の担い手支援」等に取り組んでいる農業委員会／農業委員・農地利用最適化推進委員の基本的な役割や主な活動について、イラスト入りでわかりやすく示したリーフレットです。地域の方々への農業委員会活動の紹介や、農業委員・推進委員の推薦・公募の際の周知に最適です。



【リーフ】今こそ農業委員会に女性の力を！(R04-17 A4判4頁 50円)

農業委員会への女性の参画を促すリーフレットです。第5次男女共同参画基本計画においても、女性農業委員の割合を30%まで上昇させることが目標として設定されています。女性委員のネットワークの紹介や活躍されている地域の事例も盛り込みました。



5. 農政関係

【パンフ】令和5年度 経営所得安定対策と米政策(R04-25 A4判16頁 110円)

令和5年度の主食用米の需給安定のためには、作付け転換等に向けた政策に加え、関係者が一丸となって適正生産量を目指す取り組みが欠かせません。

ゲタ・ナラシ対策、収入保険制度などの仕組みとメリットも紹介しており、これらの制度についての普及啓発資料としてもご利用いただけます。



「市町村」にお勧めする全国農業図書

令和5年4月
(一社)全国農業会議所出版部

(価格はすべて10%税込・送料別)

1. 【パンフ】令和5年度 経営所得安定対策と米政策

(R04-25 A4判 16頁 110円)

令和5年度の主食用米の需給安定のためには、作付け転換等に向けた政策に加え、関係者が一丸となって適正生産量を目指す取り組みが欠かせません。ゲタ・ナラシ対策、収入保険制度などの仕組みとメリットも紹介しており、これらの制度についての普及啓発資料としてもご活用いただけます。



2. 2022年度版 農家相談の手引～農地・経営対策に役立つ！ 支援制度の資料集～

(R04-11 A4判 124頁 850円)

農業委員、農地利用最適化推進委員、地域農業のリーダーが農家から相談を受ける際、制度や施策を説明するための資料集として、あるいは農業に関するさまざまな制度を学ぶ手引書として活用できます。「農地利用最適化」をはじめとする農業委員・推進委員の役割、「人・農地プラン」の実質化など農地と担い手の確保、経営継承や農業者年金など農業者の経営発展、国による支援制度に関する事項を収録しています。



3. 農業経営基盤強化法等 2022年改正のあらまし

(R04-31 A4判 32頁 550円)

農業経営基盤強化促進法等の一部改正法のうち、農業委員会組織に関係の深い改正内容について法律・政省令、通知などを踏まえ分かりやすく説明。「人・農地プランの地域計画としての法定化」「農地の集約化等」「人の確保・育成」を地域でどう進めていくか、具体的に整理しています。



4. 【リーフ】2022年度版 地域農業の将来を考えてみませんか

～進めよう！「人・農地プラン」の実質化 備えよう！「地域計画」～

(R04-13 A4判 8頁 100円)

人・農地プラン実質化のための流れを5つのステップに分けて説明したリーフレットです。令和5年4月1日から「人・農地プラン」の名称が「地域計画」に変わることを踏まえ、今後の農業委員会が果たすべき役割についての解説も盛り込んでいます。



5. 【リーフ】農業用ハウスの底面を全面コンクリート張りした場合の取り扱いが見直されました

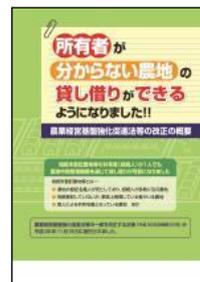
(30-30 A4判 6頁 75円)

農業用ハウスなど、コンクリート等で地固めをして耕作をできない土地は農地に該当せず、農地転用の許可が必要でしたが、その取り扱いが見直され、あらかじめ農業委員会に届け出れば、転用許可が不要となる仕組みが設けられました。届出の様式例も掲載して、理解しやすいように整理したリーフレットです。



7. 【リーフ】所有者が分からない農地の貸し借りができるようになります!! (30-26 A4判 6頁 75円)

相続未登記など所有者の一部や全部が分からない農地を、簡易な手続きで、農地中間管理機構を通じて貸し付けることができる仕組みが新設されました。「基盤法」に基づく、その仕組みの概要と手続き、農業委員会による所有者の探索方法と同意取得の対応をコンパクトに分かりやすく解説しました。また、所有者が誰も分からない場合など、『農地法』に基づく貸し借りの簡素化された手続きについても掲載しています。



8. 【リーフ】農地転用許可制度のあらまし (R02-41 A4判 8頁 100円)

農地転用許可制度のあらましをオールカラーのイラストや写真で説明した8ページのリーフレット。制度の概要をはじめ農地区分と要件、農地区分ごとの許可の方針、審査事項(立地基準、一般基準)や審査事務の流れなどをビジュアルにまとめています。



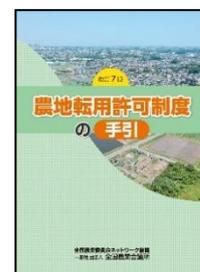
9. 農地転用許可制度マニュアル 改訂3版 (R02-40 A4判 29頁 540円)

農地転用許可制度の概要をわかりやすく解説したマニュアルです。農地法、同施行令・施行規則の規定をベースに、豊富なイラストや許可申請書・届出書を加えて解説。とくに農用区域内の農地を転用する場合の農用地利用計画の変更・農用区域からの除外と、転用許可までの手続きが充実しています。



10. 農地転用許可制度の手引 改訂7版 (R02-39 B5判 196頁 1,200円)

農地転用許可制度を詳しく、分かりやすく解説した手引書。7回目となる改訂により、さらに充実しました。農地法、同施行令・施行規則の規定をベースに、農地法関係通知の記載内容を交えて具体的に解説。長年にわたり関係者等から好評を得ています。



11. 新 農地全書 第8版 (31-46 A5判 243頁 2,400円)

売買、貸借や転用、相続・贈与など多岐に渡る農地に関する相談に対応するには、農地法や中間管理事業法、基盤法、農振法だけでなく、民法、都市計画法、国土法など様々な制度に関する知識が必要です。これら農地に関する相談を問答形式でまとめた、昭和47年の刊行以来のロングセラーです。

※令和5年度中に改訂版刊行予定



12. 新・農地の法律早わかり! 改訂5版 (R02-32 A4判 62頁 850円)

「農地法から基盤法、中間管理法、農振法、市民農園法まで、コンパクトにまとまっていて分かりやすい!」と好評を得てきた本書が、農地制度改正に対応した改訂5版として登場。農地の法律について図表を用いて分かりやすく紹介しています。

※令和5年度中に改訂版刊行予定



13. 新・農地の法律がよくわかる百問百答 改訂3版

(R03-15 A5判 387頁 2,400円)

農業委員会事務局には日々、農家等から様々な相談が寄せられます。そんなとき、疑問点にQ&A形式で答える、この「百問百答」が力強い味方となってくれます。農地法、基盤法、農地中間管理法、特定農地貸付法、市民農園整備促進法といった農地に関わる法律制度ごとに、わかりやすく解説しています。改訂3版では新たに生産緑地法、都市農地貸借円滑化法の2法の問答を追加しました。

※令和5年度中に改訂版刊行予定



14. 新・よくわかる農地の法律手続き 改訂4版

(R02-33 A4判 168頁 2,200円)

好評いただいた本書を平成27年の農地制度改正に対応するとともに、全体を再整理、改訂しました。農地の法律手続きのうち頻度の高い農地の売買・貸借、農地以外への転用、市民農園の開設等について、「これだけは知っておきたい」ことを、手続きの流れ図、申請書の記載例、判例等を交えて解説しています。

※令和5年度中に改訂版刊行予定



15. 農業経営基盤強化促進法 一問一答集 改訂三版

(R02-26 A5判 324頁 2,500円)

「共有者不明農用地等同意手続き特例制度」「認定農業者制度の見直し(国・都道府県認定)」「特例農用地利用規程」など最新制度を加えた改訂三版です。制度運用で疑問にぶつかったときの手引となるよう一問一答形式でわかりやすく解説。設問数を21増やし(全260問)、さらに充実した内容になっています。

※令和5年度中に改訂版刊行予定



16. 農業経営基盤強化促進法の解説 改訂7版 (R03-12 A5判 607頁 3,800円)

認定農業者、認定新規就農者など担い手の育成と農地集積等の支援を目的とする農業経営基盤強化促進法について、条文ごとの詳しい解説と改正経過を掲載。最新の法令と通知も盛り込んでいます。

今回の改訂では、平成30年改正(共有者不明農用地等に係る農用地利用集積計画の同意手続の特例制度の創設)及び令和元年改正(農地利用集積円滑化事業の農地中間管理事業への統合・一体化、子会社兼務役員の常時従事要件の特例創設等)を反映。

※令和5年度中に改訂版刊行予定



17. Q&A 農業法人化マニュアル 改訂第6版

(R04-37 A4判 108頁 900円)

農業経営の法人化を志向する農業者を対象に、法人化の目的やメリット、法人の設立の仕方、法人化に伴う税制や労務管理上の留意点などの疑問を一問一答形式で解説。改訂第6版では、農業経営の発展過程と法人化を踏まえた経営理念・経営戦略立案の重要性などを追加予定です。



18. 【リーフ】準備ができていますか？消費税のインボイス制度

(R04-23 A4判 8頁 100円)

消費税のインボイス制度（適格請求書等保存方式）導入で迫られる課税事業者となるか否かの選択。課税事業者、簡易課税事業者、免税事業者となっている農業者の対応や、免税事業者があえて課税事業者を選択し、発行事業者として登録を受ける際の総合的判断のポイントを整理しました。



19. 【リーフ】農業経営を法人化しませんか？

(R02-25 A4判 8頁 100円)

農業経営の法人化を志向する農業者向けのリーフレットです。各種計画づくりのチェックポイントや法人設立の手順、法人化のメリットと義務・負担、会社法人と農事組合法人、農地所有適格法人の要件などを解説。農業法人設立・経営相談の窓口も掲載しています。



20. 企業の農業参入の手引

(26-41 A4判 48頁 713円)

農地の有効利用を進め、地域の担い手を確保するためには、地域の実情に応じて企業等の新たな担い手を農業のパートナーとして積極的に迎え入れ、経営体として支援する取り組みが重要です。この手引は、農業参入に関心を持つ企業等の皆さんに、農業に関する基礎的知識と、農業参入の流れや方針、事業計画作成のポイント、参入後の留意点等について分かりやすく解説しています。



21. 【リーフ】今こそ農業委員会に女性の力を！(R04-17 A4判 4頁 50円)

農業委員会への女性の参画を促すリーフレットです。第5次男女共同参画基本計画においても、女性農業委員の割合を30%まで上昇させることが目標として設定されています。女性委員のネットワークの紹介や活躍されている地域の事例も盛り込みました。現職の農業委員・農地利用最適化推進委員はもちろん、地域での話し合いや女性委員候補者への働きかけなどに幅広くご活用ください。



22. 【リーフ】地域農業の担い手「認定農業者」(R03-26 A4判 12頁 110円)

認定農業者になるための要件や手続き、認定農業者になると受けられる主な支援措置など制度の仕組みとメリットを解説。従来の内容に加え、2020年4月から始まった国・都道府県認定とそれに伴う電子申請も説明しています。農業経営改善計画の様式と記載上の注意点も収録。



「地域リーダー」にお勧めする全国農業図書

令和 5 年 4 月
(一社)全国農業会議所出版部

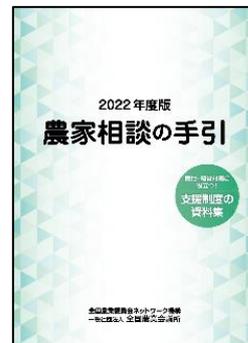
(価格はすべて10%税込・送料別)

1. 2022年度版 農家相談の手引～農地・経営対策に役立つ！ 支援制度の資料集～

(R04-14 A4判 124頁 850円)

農業委員、農地利用最適化推進委員、地域農業のリーダーが農家から相談を受ける際、制度や施策を説明するための資料集として、あるいは農業に関するさまざまな制度を学ぶ手引書として活用できます。

「農地利用最適化」をはじめとする農業委員・推進委員の役割、「人・農地プラン」の実質化など農地と担い手の確保、経営継承や農業者年金など農業者の経営発展、国による支援制度に関する事項を収録しています。



2. Q&A 農業法人化マニュアル 改訂第6版

(R04-37 A4判 108頁 900円)

農業経営の法人化を志向する農業者を対象に、法人化の目的やメリット、法人の設立の仕方、法人化に伴う税制や労務管理上の留意点などの疑問を一問一答形式で解説。改訂第6版では、農業経営の発展過程と法人化を踏まえた経営理念・経営戦略立案の重要性などを追加予定です。



3. 一般社団法人による集落営農・農村RMO設立・運営の手引

(R04-29 A4判 96頁 1,100円)

今後の農村政策の一つの柱として期待が寄せられている、農村RMO（農村型地域運営組織）。農村RMOが展開する活動は多種多様であり、それぞれの実情にあわせて法人形態を選択することが大切です。一般社団法人のメリット・デメリットや設立・運営の仕方を他の法人形態と比較しながら解説しました。



2. 改訂版 地域（集落）の未来設計図を描こう！

【全国農業図書ブックレット 15】

澤畑佳夫 著 (R02-30 A5判 72頁 700円)

茨城県東海村農業委員会の元事務局長で、現在は全国農業会議所の専門相談員の澤畑氏が、「地域（集落）の話し合いの進め方」について、これまでの座談会や講演会、研修会などの経験を踏まえて具体的に何をすべきか、現場出身者ならではの目線で伝えるブックレット。改訂版となる本書では、冒頭で新たに解説と推薦文を加えたほか、座談会前に取り組むべき準備についても解説しました。座談会成功のコツをわかりやすくまとめた一冊です。



3. 全員が発言する座談会が未来の地域（集落）をつくる 【全国農業図書ブックレット 16】

釘山健一/小野寺郷子 著 (R02-31 A5 判 104 頁 900 円)

会議ファシリテーター普及協会 (MF A) の釘山健一氏と小野寺郷子氏が人・農地プランの実質化のための座談会の進め方を丁寧に解説。本書では、「参加者が楽しく積極的に発言できる座談会」のつくり方を MF A が試行錯誤しながら培った「理論」に基づいてわかりやすく解説しています。



4. 「地域まるっと中間管理方式」とは？ 【全国農業図書ブックレット 18】

— 農地中間管理事業をフル活用！ —

可知祐一郎 著

(R03-25 A5 判 74 頁 700 円)

農地の集積・集約化をはじめ、担い手の確保・育成や魅力ある地域づくりを実現する手法として注目を集めている「地域まるっと中間管理方式」。本書では、取り組みの方法を実際の事例を挙げながら実践的に学ぶことができます。



5. 未来の担い手を確保するために 【全国農業図書ブックレット 13】

— 現場で活躍するリーダーへの提言 —

香川文庸 著

(30-18 A5 判 21 頁 400 円)

農業委員・農地利用最適化推進委員など地域リーダーによる「未来の担い手を確保するための話し合い」に役立つ話題提供のための一冊。人・農地プランの話し合いを前に進めるヒントや、農地利用の最適化に向けた地域の合意形成に役立つ提言を平易に解説しました。



6. 【リーフ】 2022 年度版 地域農業の将来をを考えてみませんか ～進めよう！「人・農地プラン」の実質化 備えよう！「地域計画」～ (R04-13 A4 判 8 頁 100 円)

「人・農地プランとは何か」から、地域の関係機関が一体となって取り組むべき「意向把握」や「話し合い活動」などの『人・農地プラン実質化』のための流れを5つのステップに分けて説明したリーフレットです。令和5年4月1日から「人・農地プラン」の名称が「地域計画」に変わることを踏まえ、今後の農業委員会が果たすべき役割についての解説も盛り込んでいます



「農業者」にお勧めする全国農業図書

令和5年4月
(一社)全国農業会議所出版部

(価格はすべて10%税込・送料別)

1. 米政策

令和5年度 経営所得安定対策と米政策 (R04-25 A4判 16頁 110円)

令和5年度の主食用米の需給安定のためには、作付け転換等に向けた政策に加え、関係者が一丸となって適正生産量を目指す取り組みが欠かせません。ゲタ・ナラシ対策、収入保険制度などの仕組みとメリットも紹介しており、これらの制度についての普及啓発資料としてもご活用いただけます。



2. 簿記

① 3訂 複式農業簿記実践テキスト

(R04-26 A4判 135頁 1,700円)

簿記記帳のイロハから実務まで網羅した手引書。特に学習のヤマ場といわれる「仕訳」で多くの仕訳例を掲載。今回の改訂では、農業経営基盤強化準備金を取り崩して固定資産を購入する場合の設例を法改正に合わせて修正し、所得税青色申告決算書を最新様式に差し替えて記入例を更新。

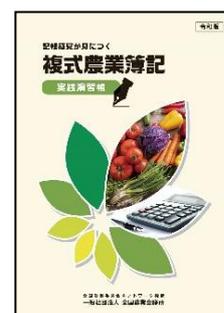


② 令和版 記帳感覚が身につく 複式農業簿記実践演習帳

(R03-08 A4判 48頁 420円)

「3訂 複式農業簿記実践テキスト (R04-26)」に対応した実践的な演習帳。テキストによる学習と併せて演習問題にチャレンジすることで、学習効果が飛躍的に高まります。

テキストの対応ページを記載した問題と解答を本冊に収録。別冊の解答用紙は切り離して利用できます。



③ 改訂8版 はじめてのパソコン農業簿記 ソリマチ (株)「農業簿記11」体験版 CD-ROM付 (31-36 A4判 167頁 3,000円)

ソリマチ (株) の農業簿記ソフト「農業簿記11」に対応した最新版。前半で簿記の基本、後半でパソコン簿記を学習できるよう構成した演習用テキストで、パソコン簿記を始めたい人に最適の入門書です。



④ 2022年版 勘定科目別農業簿記マニュアル ～青色申告から経営改善につなぐ～
(R04-16 A4判 234頁 2,160円)

企業会計に即して記帳する場合のポイントを勘定科目ごとに整理。「わからないとき」に必要な部分が参照しやすく、農業簿記の“辞典”として活用できます。記帳の中から自己の経営をチェックする方法も解説した本書は、経営の改善につながる農業簿記の実務書や研修会のテキストとして適しています。最新の申告書や決算書に基づく記入例も掲載。執筆者は税理士の森剛一氏。



3. 税 制

① 令和4年度版 よくわかる農家の青色申告 (R04-08 A4判 127頁 900円)

青色申告制度、申告の手続き、記帳の実務、確定申告書の作成から申告までを網羅、各種様式の記入例をまじえて、ていねいに解説した最新版の入門書です。

令和4年度版は、農業経営基盤強化準備金の対象者を人・農地プランの中心経営体とするなどの制度改正を反映。確定申告書の様式変更に伴う記載例・説明も見直しています。



② 令和4年度版 農家のためのなんでもわかる 農業の税制

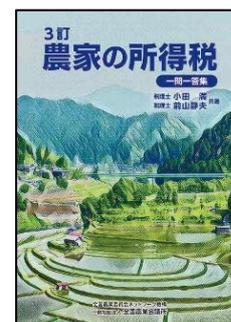
(R04-07 A5判 180頁 1,140円)

農業収入や農地等に係る所得税、法人税、相続税、贈与税のほか、消費税とその軽減税率制度の概要と解説も掲載。農業関係の税金を、農地集積・集約化、後継者対策など経営発展を後押しする特例措置など最新の税制を網羅して、わかりやすく解説しています。第2部の「農地税制Q&A」では、照会の多い質問にていねいに答えています。



③ 3訂 農家の所得税 一問一答集 (R04-21 A5判 363頁 2,860円)

所得税の計算の仕組みや手続きを中心に、相続税や贈与税など農家の関心が高い税目について一問一答形式で幅広く解説。インボイス制度の導入に伴い注目される消費税関係の30問も追加しました。セルフメディケーション税制やひとり親控除など最新の税制に加え、国税電子申告に関わる新たな動きも取り上げています。著者は元国税庁の税理士・小田満氏、前山静夫氏。



④ 改訂 農業者の消費税 ～届出から申告・納付まで～

(R04-24 A4判105頁 900円)

農業者で消費税の課税事業者となる方のために消費税の仕組みや確定申告書の作成などを解説した手引書。今回の改訂では、インボイス制度導入で迫られる課税事業者の選択にあたっての判断要素や必要な手続きなどを追加。



⑤ 【リーフ】準備ができていますか？消費税のインボイス制度

(R04-24 A4判105頁 900円)

消費税のインボイス制度（適格請求書等保存方式）導入で迫られる課税事業者となるか否かの選択。課税事業者、簡易課税事業者、免税事業者となっている農業者の対応や、免税事業者があえて課税事業者を選択し、発行事業者として登録を受ける際の総合的判断のポイントを整理しました。



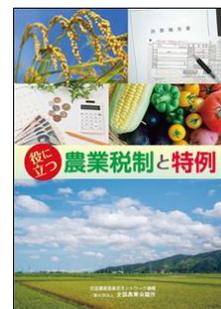
⑥ 【リーフ】改訂2版 農地等の相続税・贈与税納税猶予制度をご存じですか (31-23 A4判8頁 90円)

相続税・贈与税納税猶予制度の概要、相続税納税猶予額の計算例などを解説、相続時精算課税制度も収録。平成31年税制改正の「事業承継税制」の創設を反映した最新版の農業者向けリーフレットです。



⑦ 役に立つ農業税制と特例 (R03-38 A4判44頁 400円)

農業経営を支援する税制として農業経営基盤強化準備金や青色申告、設備投資関連の取扱いなどを分かりやすく解説。農地の取引に関わる税制も、譲渡や取得・保有、相続・贈与に至る場面に分けて、特例を含む制度の概要と対象者、活用のメリット、必要な手続きを紹介しています。



4. 家族経営協定、年金、認定農業者、農業法人化

① 【パンフ】「家族経営協定」で新しい時代をひらく

(31-32 A4判12頁 160円)

農業経営や暮らしの現状確認を出発点に、世代や男女を問わず対等な立場で話し合い夢を実現する「家族経営協定」づくりのポイントや制度上のメリットを、東京農業大学の五條満義准教授が農家向けに書き下ろしたパンフレットです。5年ぶりにリニューアル。



② 【リーフ】 地域農業の担い手 「認定農業者」

(R03-26 A4判 12頁 110円)

認定農業者制度の概要やメリットを伝え、認定農業者になることを勧めるリーフレットです。認定農業者になるための要件や、なった場合の主な支援措置、2020年4月から始まった国・都道府県認定とそれに伴う電子申請などについて説明しています。農業経営改善計画の様式と記載上の注意点も収録。



③ 【リーフ】 農業経営を法人化しませんか？

(R02-25 A4判 8頁 100円)

農業経営の法人化を志向する農業者向けのリーフレット。各種計画づくりのチェックポイントや法人設立の手順、法人化のメリットと義務・負担、会社法人と農事組合法人、農地所有適格法人の要件などを解説。農業法人設立・経営相談の窓口も掲載しています。



④ Q&A 農業法人化マニュアル 改訂第6版

(R04-37 A4判 108頁 900円)

農業経営の法人化を志向する農業者を対象に、法人化の目的やメリット、法人の設立の仕方、法人化に伴う税制や労務管理上の留意点などの疑問を一問一答形式で解説。改訂第6版では、農業経営の発展過程と法人化を踏まえた経営理念・経営戦略立案の重要性などを追加予定です。



5. 経営全般

① 新世代の農業挑戦—優良経営事例に学ぶ— 叶 芳和 著

(26-14 新書判 251頁 1,121円)

農業は「成長産業」という著者が、先進的な農業経営体の開拓者精神と情熱、哲学、経営スピリッツに迫り、その強さの秘密を解き明かす、農業経営事例研究の書。急速に規模拡大が進む日本農業の現状を踏まえ、農業・農村の最前線取材し、様々な経営類型での技術革新や経営改善の取組を紹介し、農業経営者に元気を与える一冊です。



② 改訂 新・日本農業の実際知識 羽田 實／折原 直 改訂共著

(28-42 新書判 214頁 1,019円)

初版から12年。新たなデータを追加・更新して「日本農業の本物の姿」を解説しています。マスコミによる日本農業に対する多くの誤解や経済界・農業界の疑問に対して明快に回答。TPP問題にも言及しています。



③ だれでも楽しめる！簡単野菜づくり (25-29 A5判 115頁 1,257円)

野菜づくりの入門書が遂に登場。野菜づくりの基本とも言える土づくり、肥料の施用方法のイロハから、野菜ごとの栽培方法まで、イラストを使ってわかりやすく紹介しています(全ページカラー)。多数の著書があり、野菜づくりのトップエキスパートである園芸研究家・小林五郎氏の書き下ろし。野菜づくりを始める人はもちろん、経験がある人にも、きっと新しい発見がある一冊です。



④ 藤田智の園芸講座 藤田智 著 (R04-40 A5判 162頁 1,430円)

テレビでもお馴染みの筆者が楽しくわかりやすく野菜づくりを解説します。約50の野菜の栽培方法のほか、畑づくりの方法や病虫害防除についても紹介。菜園計画を立てるのに役立つ作付カレンダーも付いています。野菜づくりの入門書としてはもちろん、新しい知識を得たい経験者の方にもぴったりです。



⑤ 何でも聞いちゃえ アグリの話 第2集

(R04-18 A4判 48頁 800円)

全国農業新聞連載の「何でも聞いちゃえ アグリの話」で扱った記事を取りまとめた本の第2集。登場人物は、好奇心旺盛な高校1年生の瑞穂と、瑞穂の伯父で農業委員の耕一。2人の会話(Q&A)を通じて農業施策・用語をやさしく学べます。



⑥ なんでも聞いちゃえ アグリの話 ～農業施策・用語Q&A～

(31-33 A4判 47頁 800円)

全国農業新聞で連載している「何でも聞いちゃえ アグリの話」を1冊の本にまとめました。

認定農業者/HACCP/TPP11/農地利用の最適化/収入保険/軽減税率など、農業にまつわる用語を、Q&Aの会話形式で、やさしく分かりやすく解説しています。



⑦ 令和版 よくわかる農政用語集 ～農に関するキーワード1000～

(31-31 B6判 276頁 2,000円)

農政に関する用語を中心に、現代の農についてのキーワードを約1,000語集めてわかりやすく解説した用語集です。

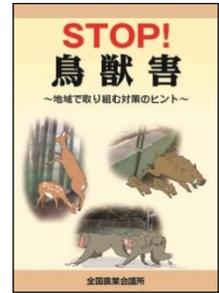
農業の法律や制度・施策をはじめ、農業関係機関・団体、経営や生産技術、食料流通、販売、消費、環境問題などの各分野からおおむね1,000語選び、わかりやすく簡潔に解説・説明を加えています。



6. 「STOP 鳥獣害」 シリーズ

① STOP! 鳥獣害～地域で取り組む対策のヒント～(27-34 A5判 203頁 1,019円)

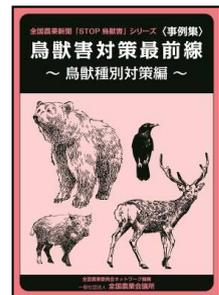
第1章では岐阜大学応用生物科学部の鈴木正嗣教授が鳥獣による農作物被害の状況はどう変わったのか総括。今後の10年を展望します。第2章は鳥獣の種類別に対策をまとめました。シカ、イノシシ、サル等11種について第一人者が被害対策を解説。第3章では全国農業新聞で連載中の「ストップ鳥獣害」から16の取り組みを紹介しています。



② 【事例集】鳥獣害対策最前線～鳥獣種別対策編～

(31-25 A5判 205頁 1,500円)

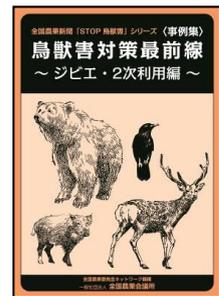
全国農業新聞で連載中の「STOP 鳥獣害」シリーズの記事を中心に現場の取り組みを紹介した事例集です。イノシシ、シカ、サルを中心に、ハクビシン、アライグマなど中型獣への対策、カラスなどの鳥害対策を取り上げています。94事例収録。



③ 【事例集】鳥獣害対策最前線～ジビエ・2次利用編～

(31-26 A5判 103頁 800円)

全国農業新聞で連載中の「STOP 鳥獣害」シリーズの記事を中心に現場の取り組みを紹介した事例集です。イノシシ、シカ、サルを中心に、ハクビシン、アライグマなど中型獣への対策、カラスなどの鳥害対策を取り上げています。94事例収録。



※②と③をセットで購入すると、2,300円→2,000円へ値引き。

7. 病害虫・雑草フィールドブック

主要な病害虫・雑草をカラー写真とともに簡潔に説明した、現場に携帯できる小図鑑です。

① 水稻編 (17-04 新書判 87頁 1,048円)

病害16種、害虫23種、雑草39種を収録。

② 野菜編 (17-05 新書判 102頁 1,048円)

病害94種、害虫33種、雑草26種を収録。

③ 柑橘編 (17-57 新書判 97頁 1,048円)

病害19種、害虫31種、雑草28種を収録。

④ 果樹編 (18-01 新書判 97頁 1,048円)

病害43種、害虫33種、雑草22種を収録。



「農業参入企業」にお勧めする全国農業図書

令和5年4月
(一社)全国農業会議所出版部

(価格はすべて10%税込・送料別)

1. 企業の農業参入の手引 (26-41 A4判 48頁 713円)

農地の有効利用と担い手確保に向けて、地域の実情に応じて企業等を新たな農業のパートナーとして積極的に受け入れることが重要となっています。参入に関心を持つ企業等の皆さんに農業参入に必要な基礎的知識や参入の流れ、事業計画作成のポイント、参入後の留意点等についてわかりやすく解説しています。



2. Q&A 農業法人化マニュアル 改訂第6版 (R04-37 A4判 108頁 900円)

農業経営の法人化を志向する農業者を対象に法人化の目的やメリット、法人の設立の仕方、法人化に伴う税制や労務管理上の留意点などの疑問に一問一答形式で解説。



3. 3訂 農業法人の設立 (R04-36 A4判約 220頁 2,200円)

農地所有適格法人の要件と法人形態の選択、会社法人と組合法人の比較、法人の設立手続き、農業法人の税・資金と労務対策などを詳しく解説した実務書です。3訂では、農業経営の発展過程と法人化を踏まえた経営理念・経営戦略立案の重要性、合同会社の設立手続きなどを追加予定としています。



4. 新規就農ガイドブック (R04-39 A5判 130頁 1,210円)

就農までの道筋を具体的にイメージするために必要となる農業に関する基礎知識や注意点について、図表を多く用いてわかりやすくまとめました。就農地や作目の選択をはじめ、資金・農地の確保の仕方、営農技術の習得方法まで幅広く紹介しています。監修は全国新規就農相談センター。



5. 3訂 農業の労務管理と労働・社会保険 百問百答 (R04-22 A5判 322頁 1,650円)

採用から退職に至るまでの労働条件の決定と就業規則の作成、安全衛生や福利厚生を含む労務管理全般について解説。労働・社会保険の基本的な仕組みと手続きも充実させた一問一答集です。今回の改訂では、働き方改革や法改正に伴う年休5日の取得義務化、パワハラ・セクハラの取り扱い、特定技能外国人制度の導入など、近年の労働環境の変化に伴い重要と考えられる12の設問を追加しました。



6. 雇用の心得 最初の一步 諏訪 学・塚越 理恵 共著 【全国農業図書ブックレット 19】

(R04-28 A5判 32頁 550円)

初めて従業員を雇用する際に最低限知っておきたい知識をまとめたブックレット。労働時間や給与に関する決まりから農業における特例までわかりやすく紹介。従業員採用に関する不安を払拭し、最初の一步をフォローする一冊。



7. 簿記

① 3訂 複式農業簿記実践テキスト

(R04-26 A4判 135頁 1,700円)

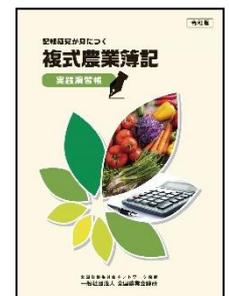
簿記記帳のイロハから実務まで網羅した手引書。特に学習のヤマ場といわれる「仕訳」で多くの仕訳例を掲載。今回の改訂では、農業経営基盤強化準備金を取り崩して固定資産を購入する場合の設例を法改正に合わせて修正し、所得税青色申告決算書を最新様式に差し替えて記入例を更新。



② 令和版 記帳感覚が身につく 複式農業簿記実践演習帳

(R03-08 A4判 48頁 420円)

「3訂 複式農業簿記実践テキスト」に対応した実践的な演習帳。テキストによる学習と併せて演習問題にチャレンジすることで、学習効果が飛躍的に高まります。テキストの対応ページを記載した問題と解答を本冊に収録。別冊の解答用紙は切り離して利用できます。



③ 改訂8版 はじめてのパソコン農業簿記 ソリマチ(株)「農業簿記11」体験版CD-ROM付 (31-36 A4判 167頁 3,000円)

ソリマチ(株)の農業簿記ソフト「農業簿記11」に対応した最新版。前半で簿記の基本、後半でパソコン簿記を学習できるよう構成した演習用テキストで、パソコン簿記を始めたい人に最適の入門書です。



④ 2022年版 勘定科目別農業簿記マニュアル 青色申告から経営改善につなぐ

(R04-16 A4判 234頁 2,160円)

企業会計に即して記帳する場合のポイントを勘定科目ごとに整理。「わからないとき」に必要な部分が参照しやすく、農業簿記の“辞典”として活用できます。記帳の中から自己の経営をチェックする方法も解説した本書は、経営の改善につながる農業簿記の実務書や研修会のテキストに最適です。最新の申告書や決算書に基づく記入例も掲載。執筆者は税理士の森剛一氏。



8. 税務

①令和4年度版 よくわかる農家の青色申告 (R04-08 A4判 127頁 900円)

青色申告制度、申告の手続き、記帳の実務、確定申告書の作成から申告までを網羅、各種様式の記入例をまじえて、ていねいに解説した最新版の入門書です。

令和4年度版は、農業経営基盤強化準備金の対象者を人・農地プランの中心経営体とするなどの制度改正を反映。確定申告書の様式変更に伴う記載例・説明も見直しています。



② 令和4年度版 農家のためのなんでもわかる農業の税制

(R04-07 A5判 180頁 1,140円)

農業収入や農地等に係る所得税、法人税、相続税、贈与税のほか、消費税とその軽減税率制度の概要と解説を掲載。農業関係の税金を、農地集積・集約化、後継者対策など経営発展を後押しする特例措置など最新の税制を網羅して、わかりやすく解説しています。



③【リーフ】改訂2版 農地等の相続税・贈与税納税猶予制度をご存じですか

(31-23 A4判 8頁 90円)

相続税・贈与税納税猶予制度の概要、相続税納税猶予額の計算例などを解説し、相続時精算課税制度も収録。31年税制改正の「事業承継税制」の創設を反映した最新版の農業者向けリーフです。



9. 日本農業技術検定過去問題集 (4月12日刊行予定)

日本農業技術検定は、農業についての知識・技能の習熟度を測ることができるとして、学生から社会人まで幅広く活用されています。

① 2023年版 日本農業技術検定 過去問題集 3級

(R05-01 A5判 224頁+96頁 1,100円)

2022・2021・2020年度に行われた試験問題5回分と、現役教師による適切かつ丁寧な解説を掲載しています。



② 2023年版 日本農業技術検定 過去問題集 2級

(R05-02 A5判 184頁+68頁 1,100円)

2022年度に行われた試験問題2回分と、現役教師による適切かつ丁寧な解説を掲載しています。



10. 病害虫・雑草フィールドブック

主要な病害虫・雑草をカラー写真とともに簡便に説明した、現場に携帯できる小図鑑です。

①水稲編 (17-04 新書判 87 頁 1,048 円)

病害 16 種、害虫 23 種、雑草 39 種を収録。

②野菜編 (17-05 新書判 102 頁 1,048 円)

病害 94 種、害虫 33 種、雑草 26 種を収録。

③柑橘編 (17-57 新書判 97 頁 1,048 円)

病害 19 種、害虫 31 種、雑草 28 種を収録。

④果樹編 (18-01 新書判 97 頁 1,048 円)

病害 43 種、害虫 33 種、雑草 22 種を収録。



11. 令和版 よくわかる農政用語集 ～農に関するキーワード1000～

(31-31 B6判 276 頁 2,000 円)

農政に関する用語を中心に、現代の農についてのキーワードを約 1,000 語集めてわかりやすく解説した用語集です。

農業の法律や制度・施策をはじめ、農業関係機関・団体、経営や生産技術、食料流通、販売、消費、環境問題などの各分野からおおむね 1,000 語選び、わかりやすく簡潔に解説・説明を加えています。



12. 実践型農業マーケティング 平岡 豊 著 (18-20 新書判 179 頁 837 円)

「農業マーケティングを成功させるには、経営形態と目指すべき方向を見極めて、適切な顧客層と流通チャンネルを明確にすること」(第 1 章マーケティングの基礎知識より)。農業分野におけるマーケティングの第一人者・平岡豊氏が、フィールドワークによって得た豊富な実例を紹介するとともに、実践的な農業のマーケティングについて述べています。



13. 新世代の農業挑戦 ～優良経営事例に学ぶ～ 叶 芳和 著

(26-14 新書判 251 頁 1,121 円)

農業は「成長産業」という著者が、先進的な農業経営体の開拓者精神と情熱、哲学、経営スピリッツに迫り、その強さの秘密を解き明かす、農業経営事例研究の書。急速に規模拡大が進む日本農業の現状を踏まえ、農業・農村の最前線取材し、様々な経営類型での技術革新や経営改善の取り組みを紹介します。農業経営者に元気を与える一冊です。



「新規就農者」にお勧めする全国農業図書

令和5年4月
(一社)全国農業会議所出版部

(価格はすべて10%税込・送料別)

1. 新規就農ガイドブック (R04-39 A5判130頁 1,210円)

就農までの道筋を具体的にイメージするために必要となる農業に関する基礎知識や注意点について、図表を多く用いてわかりやすくまとめました。就農地や作目の選択をはじめ、資金・農地の確保の仕方、営農技術の習得方法まで幅広く紹介しています。監修は全国新規就農相談センター。



2. 作目別 新規就農 NAVI 1 野菜編 (R02-42 B5判25頁 440円)

新規就農に関心を持ち、作目を絞って具体的な行動を起こそうと考えている方に必要となる基礎知識を示す道案内(ナビ)です。野菜作で就農する場合の産地や制度、品目別経営収支や必要となる資金、労働力などの基礎知識に加え、相談・体験・現場見学を経て就農に至る道のりを網羅しています。



3. 日本農業技術検定過去問題集 (4月12日刊行予定)

日本農業技術検定は、農業についての知識・技能の習熟度を測ることができるとして、学生から社会人まで幅広く活用されています。日本農業技術検定協会事務局による検定の概要や、申し込み方法、勉強の仕方なども掲載。

① 2023年版 日本農業技術検定 過去問題集 3級 (R05-01 A5判224頁+96頁 1,100円)

2022・2021・2020年度に行われた試験問題5回分と、現役教師による適切かつ丁寧な解説を掲載しています。



② 2023年版 日本農業技術検定 過去問題集 2級 (R05-02 A5判184頁+68頁 1,100円)

2022年度に行われた試験問題2回分と、現役教師による適切かつ丁寧な解説を掲載しています。



4. だれでも楽しめる! 簡単野菜づくり (25-29 A5判115頁 1,257円)

野菜づくりの基本とも言える土づくり、肥料の施用方法のイロハから、野菜ごとの栽培方法まで、イラストを使ってわかりやすく紹介しています(全ページカラー)。多数の著書があり、野菜づくりのトップエキスパートである園芸研究家・小林五郎氏の書き下ろし。野菜づくりを始める人はもちろん、経験がある人にも、きっと新しい発見がある一冊です。



5. 藤田智の園芸講座 藤田智 著 (R04-40 A5判162頁 1,430円)

テレビでもお馴染みの筆者が楽しくわかりやすく野菜づくりを解説します。約50の野菜の栽培方法のほか、畑づくりの方法や病虫害防除についても紹介。菜園計画を立てるのに役立つ作付カレンダーも付いています。野菜づくりの入門書としてはもちろん、新しい知識を得たい経験者の方にもぴったりです。



6. 病虫害・雑草フィールドブック

主要な病虫害・雑草をカラー写真とともに簡潔に説明した、現場に携帯できる小図鑑です。

①水稲編 (17-04 新書判87頁 1,048円)

病害16種、害虫23種、雑草39種を収録。

②野菜編 (17-05 新書判102頁 1,048円)

病害94種、害虫33種、雑草26種を収録。

③柑橘編 (17-57 新書判97頁 1,048円)

病害19種、害虫31種、雑草28種を収録。

④果樹編 (18-01 新書判97頁 1,048円)

病害43種、害虫33種、雑草22種を収録。



7. 令和版 よくわかる農政用語集 ～農に関するキーワード1000～

(31-31 B6判276頁 2,000円)

農政に関する用語を中心に現代の農についてのキーワードを約1,000語集めて解説した用語集です。農業の法律や制度・施策をはじめ、農業関係機関・団体、経営や生産技術、食料流通、販売、消費、環境問題などの各分野から選び、簡潔に解説・説明を加えています。



8. 何でも聞いちゃえ アグリの話 第2集

(R04-18 A4判48頁 800円)

全国農業新聞連載の「何でも聞いちゃえ アグリの話」で扱った記事を取りまとめた本の第2集。登場人物は、好奇心旺盛な高校1年生の瑞穂と、瑞穂の伯父で農業委員の耕一。2人の会話(Q&A)を通じて農業施策・用語をやさしく学べます。



9. 令和4年度版 よくわかる農家の青色申告 (R04-08 A4判127頁 900円)

青色申告制度、申告の手続き、記帳の実務、確定申告書の作成から申告までを網羅、各種様式の記入例をまじえて、ていねいに解説した最新版の入門書です。

令和4年度版は、農業経営基盤強化準備金の対象者を人・農地プランの中心経営体とするなどの制度改正を反映。確定申告書の様式変更に伴う記載例・説明も見直しています。



10. 3訂 複式農業簿記実践テキスト

(R04-26 A4判 135頁 1,700円)

簿記記帳のイロハから実務まで網羅した手引書です。特に学習のヤマ場といわれる「仕訳」で多くの仕訳例を掲載。今回の改訂では、農業経営基盤強化準備金を取り崩して固定資産を購入する場合の設例を法改正に合わせて修正し、所得税青色申告決算書を最新様式に差し替えて記入例を更新しました。



11. 令和版 記帳感覚が身につく 複式農業簿記実践演習帳

(R03-08 A4判 48頁 420円)

「3訂 複式農業簿記実践テキスト」に対応した実践的な演習帳。テキストによる学習と併せて演習問題にチャレンジすることで、学習効果が飛躍的に高まります。

テキストの対応ページを記載した問題と解答を本冊に収録。別冊の解答用紙は切り離して利用できます。



12. 改訂8版 はじめてのパソコン農業簿記 ソリマチ(株)「農業簿記11」体験版CD-ROM付 (31-36 A4判 167頁 3,000円)

ソリマチ(株)の農業簿記ソフト「農業簿記11」に対応した最新版。前半で簿記の基本、後半でパソコン簿記を学習できるよう構成した演習用テキストで、パソコン簿記を始めたい人に最適の入門書。



13. 実践型農業マーケティング 平岡豊 著

(18-20 新書判 179頁 837円)

「農業マーケティングを成功させるには、経営形態と目指すべき方向を見極めて、適切な顧客層と流通チャンネルを明確にすること」(第1章マーケティングの基礎知識より)。農業分野におけるマーケティングの第一人者・平岡豊氏が、フィールドワークによって得た豊富な実例を紹介するとともに、実践的な農業のマーケティングについて述べています。



「農業高校生」にお勧めする全国農業図書

令和5年4月
(一社)全国農業会議所出版部

(価格はすべて10%税込・送料別)

1. 新規就農

1) 新規就農ガイドブック (R04-39 A5判 130頁 1,210円)

就業フローチャートに沿って、就農までの道のりを具体例で示しながらわかりやすく解説します。特に「方向性の選択」では、作目別に新規就農者が直面する問題と解決方法を提示し、「法人就職」では法人就職マニュアルを掲載するなど就農へのノウハウを紹介。就農した先輩のインタビューも掲載した、農業を仕事にしたい人に贈る一冊です。



2) 作目別 新規就農 NAVI 1 野菜編 (R02-42 B5判 25頁 440円)

新規就農に関心を持ち、作目を絞って具体的な行動を起こそうと考えている方に必要となる基礎知識を示す道案内(ナビ)です。野菜作で就農する場合の産地や制度、品目別経営収支や必要となる資金、労働力などの基礎知識に加え、相談・体験・現場見学を経て就農に至る道のりを網羅しています。



2. 簿記・青色申告、税制

1) 令和4年度版 よくわかる農家の青色申告 (R04-08 A4判 127頁 900円)

青色申告制度、申告の手続き、記帳の実務、確定申告書の作成から申告までを網羅、各種様式の記入例をまじえて、ていねいに解説した最新版の入門書です。

令和4年度版は、農業経営基盤強化準備金の対象者を人・農地プランの中心経営体とするなどの制度改正を反映。確定申告書の様式変更に伴う記載例・説明も見直しています。



2) 3訂 複式農業簿記実践テキスト

(R04-26 A4判 135頁 1,700円)

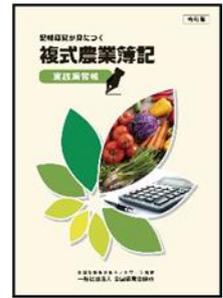
簿記記帳のイロハから実務まで網羅した手引書。特に学習のヤマ場といわれる「仕訳」で多くの仕訳例を掲載。今回の改訂では、農業経営基盤強化準備金を取り崩して固定資産を購入する場合の設例を法改正に合わせて修正し、所得税青色申告決算書を最新様式に差し替えて記入例を更新。



3) 令和版 記帳感覚が身につく 複式農業簿記実践演習帳 (R03-08 A4判 48頁 420円)

「3訂 複式農業簿記実践テキスト」に対応した実践的な演習帳。テキストによる学習と併せて演習問題にチャレンジすることで、学習効果が飛躍的に高まります。

テキストの対応ページを記載した問題と解答を本冊に収録。別冊の解答用紙は切り離して利用できます。



4) 改訂8版 はじめてのパソコン農業簿記 ソリマチ (株)「農業簿記 11」体験版 CD-ROM付 (31-36 A4判 167頁 3,000円)

ソリマチ (株) の農業簿記ソフト「農業簿記 11」に対応した最新版。前半で簿記の基本、後半でパソコン簿記を学習できるよう構成した演習用テキストで、パソコン簿記を始めたい人に最適の入門書です。



5) 令和4年度版 農家のためのなんでもわかる 農業の税制 (R04-07 A5判 180頁 1,140円)

農業収入や農地等に係る所得税、法人税、相続税、贈与税のほか、消費税とその軽減税率制度の概要と解説も掲載。農業関係の税金を、農地集積・集約化、後継者対策など経営発展を後押しする特例措置など最新の税制を網羅して、わかりやすく解説しています。第2部の「農地税制Q&A」では、照会の多い質問にていねいに答えています。



3. マーケティング、経営戦略

1) 実践型農業マーケティング 平岡 豊 著

(18-20 新書判 179頁 837円)

「農業マーケティングを成功させるには、経営形態と目指すべき方向を見極めて、適切な顧客層と流通チャンネルを明確にすること」(第1章マーケティングの基礎知識より)。農業分野におけるマーケティングの第一人者・平岡豊氏が、フィールドワークによって得た豊富な事例を紹介するとともに、実践的な農業のマーケティングについて述べています。



2) 新世代の農業挑戦 ～優良経営事例に学ぶ～ 叶 芳和 著

(26-14 新書判 251頁 1,121円)

農業は「成長産業」という著者が、先進的な農業経営体の開拓者精神と情熱、哲学、経営スピリッツに迫り、その強さの秘密を解き明かす、農業経営事例研究の書。急速に規模拡大が進む日本農業の現状を踏まえ、農業・農村の最前線取材し、様々な経営類型での技術革新や経営改善の取り組みを紹介します。農業経営者に元気を与える一冊です。



4. 農業経営改善（認定農業者、法人化）

1) 【リーフ】地域農業の担い手 「認定農業者」

(R03-26 A4判 12頁 110円)

認定農業者になるための要件や手続き、認定農業者になると受けられる主な支援措置など制度の仕組みとメリットを解説。従来の内容に加え、2020年4月から始まった国・都道府県認定とそれに伴う電子申請も説明しています。農業経営改善計画の様式と記載上の注意点も収録。



2) 【リーフ】農業経営を法人化しませんか？

(R02-25 A4判 8頁 100円)

家族経営の法人化や集落営農の法人化の意義に始まり、会社法人と農事組合法人の違いを比較表で明示。農地所有適格法人の4つの要件を解説しつつ、解除条件付き貸借による一般法人の農業参入の要件も簡潔に示しています。法人設立の手順も図示。信用力の向上や人材確保、販路拡大、税制特例など法人化のメリットと義務負担についても解説しています。



5. 農地制度、農業委員会制度

1) 【リーフ】農業委員会はこんな活動をしています

～がんばっています！農業委員・推進委員～ (31-24 A4判 4頁 45円)

「地域農業の振興」や「農地法等の農地行政の執行」、「農業の担い手支援」等に取り組んでいる農業委員会／農業委員・農地利用最適化推進委員の基本的な役割や主な活動について、イラスト入りでわかりやすく示したリーフレットです。



2) 研修テキストシリーズ

①農業委員会制度－農地利用の最適化の推進－

(R03-34 A4判 28頁 370円)

新たな農業委員会制度の概要と農業委員・農地利用最適化推進委員・農業委員会の業務についてわかりやすく説明したテキストです。令和4年4月施行の農地利用最適化推進委員の定数基準の緩和など最新の制度改正を反映しました。 ※令和5年6月に改訂版刊行予定



②農地法 (R03-23 A4判 38頁 480円)

農地制度の概要、農地法にもとづく農業委員会・農業委員等の業務についてわかりやすく説明したテキストです。研修教材として、総会・部会等での参考資料として幅広く活用できる内容です。令和3年「遊休農地に関する措置」等を反映した最新版です。

※令和5年6月に改訂版刊行予定



③農地関連法制度 (R02-08 A4判 20頁 320円)

農地法に関連する基盤法、中間管理法、農振法を中心に、特定農地貸付法や、市民農園整備促進法、土地改良法などについて、その基本的な仕組みとともに、農業委員会の役割についてわかりやすく解説しました。農業委員等を対象とした研修会等でご活用ください。

※令和5年6月に改訂版刊行予定



6. 支援施策等

1) 2022年度版 農家相談の手引～農地・経営対策に役立つ！ 支援制度の資料集～

(R04-14 A4判 124頁 850円)

農業委員、農地利用最適化推進委員、地域農業のリーダーが農家から相談を受ける際、制度や施策を説明するための資料集として、あるいは農業に関するさまざまな制度を学ぶ手引書として活用できます。農業委員・推進委員の役割、「人・農地プラン」の実質化など農地と担い手の確保、経営継承や農業者年金など農業者の経営発展、国による支援制度に関する事項を収録しています。



2) まんがでわかる！農業者年金 (R04-09 A4判 16頁 210円)

農業者年金をまんがで紹介したリーフレットです。農業者年金になじみのない方でもお気軽にお読みいただけます。少子高齢時代に強い年金であり、保険料額は自由に決められること、終身年金で80歳までの保証付き、公的年金ならではの税制の優遇措置、担い手への保険料補助など6つの特徴や令和4年以降の制度改正についてもわかりやすく紹介しています。



3) 人生100年時代 農業者年金で備える老後設計 (R03-29 A4判 28頁 200円)

お金の不安にまつわる様々な問題を農業現場に寄り添うファイナンシャルプランナーが解説しています。長期運用、複利運用、節税などのメリットが際立つ農業者年金への早期加入を軸に「人生100年時代」に備えておきたい3つのことを提案しています。さらに、遺言と生命保険を活用した相続対策も解説。長くなった老後に不安を抱く全ての人におすすめしたい一冊です。



4) 令和5年度 経営所得安定対策と米政策 (R04-25 A4判 16頁 110円)

新型コロナウイルス禍の需要減少などに伴う米価下落が問題となる中、主食用米から飼料用米等への作付転換の重要性が一層高まっています。水田フル活用、水田農業高収益化の推進に向けた支援を活用しましょう。ゲタ対策、ナラシ対策、収入保険等も掲載しています。本パンフレットは、これらの制度についての普及啓発資料として幅広く活用できます。



7. 農政全般

1) ニッポンの食と農 この10年～命の糧を未来につなぐ～ 見城 美枝子 著

(27-19 B6判 256頁 1,528円)

著者の農業応援のきっかけは40年前、海外取材で体調を崩し、おかげで復帰して以来、和食生活になったこと。そして、「日本農業の応援」には「国産の農産物を買うこと」と農業者から言われたこと。それ以来、「国産しか買わない」「国産で子供を育てる」を貫いています。「食料依存でさらなる敗戦国としての従属を強いられないよう、食と農のこの10年をひとつの『時のくくり』として読んでいただき、そこから次の10年、未来につなげる日本の食と農のあり方を考えて」（はじめにより）と呼びかけています。



2) 令和版 よくわかる農政用語集 ～農に関するキーワード1000～

(31-31 B6判 276頁 2,000円)

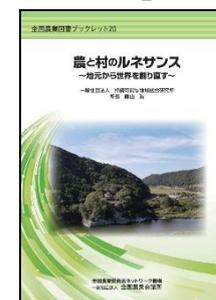
農政に関する用語を中心に、現代の農についてのキーワードを約1,000語集めてわかりやすく解説した用語集です。



3) 農と村のルネサンス～地元から世界を創り直す～【全国農業図書ブックレット20】

藤山浩 著 (R04-38 A5判 135頁 880円)

地球温暖化をはじめとする環境問題は、日本社会が高度経済成長期以降の「大規模・集中・グローバル」から脱却し、「小規模・分散・ローカル」な循環型社会へ移行することを促しています。都会への一極集中を解消し、循環型社会を実現するためにすべきことは何か——地方創生研究の第一人者で、日本中を飛び回って支援を行っている筆者が、各地の事例をもとに分析します。



8. 農業技術

1) 日本農業技術検定過去問題集（4月12日刊行予定）

日本農業技術検定は、農業についての知識・技能の習熟度を測ることができるとして、学生から社会人まで幅広く活用されています。

① 2023年版 日本農業技術検定 過去問題集 3級

(R05-01 A5判 224頁+96頁 1,100円)

2022・2021・2020年度に行われた試験問題5回分と、現役教師による適切かつ丁寧な解説を掲載しています。



② 2023年版 日本農業技術検定 過去問題集 2級

(R05-02 A5判 184頁+68頁 1,100円)

2022年度に行われた試験問題2回分と、現役教師による適切かつ丁寧な解説を掲載しています。



2) 病害虫・雑草フィールドブック

主要な病害虫・雑草をカラー写真とともに簡便に説明した、現場に携帯できる小図鑑です。

①水稲編 (17-04 新書判 87 頁 1,048 円)

病害 16 種、害虫 23 種、雑草 39 種を収録。

②野菜編 (17-05 新書判 102 頁 1,048 円)

病害 94 種、害虫 33 種、雑草 26 種を収録。

③柑橘編 (17-57 新書判 97 頁 1,048 円)

病害 19 種、害虫 31 種、雑草 28 種を収録。

④果樹編 (18-01 新書判 97 頁 1,048 円)

病害 43 種、害虫 33 種、雑草 22 種を収録。



3) だれでも楽しめる！簡単野菜づくり (25-29 A5判 115 頁 1,257 円)

園芸研究家・小林五郎氏の書き下ろし。野菜づくりの基本とも言える土づくり、肥料の施用方法のイロハから、野菜ごとの栽培方法まで、イラストを使ってわかりやすく紹介しています。野菜づくりを始める人はもちろん、経験がある人にも、きっと新しい発見がある一冊です。



4) 藤田智の園芸講座 藤田智 著 (R04-40 A5判 162 頁 1,430 円)

テレビでもお馴染みの筆者が楽しくわかりやすく野菜づくりを解説します。約 50 の野菜の栽培方法のほか、畑づくりの方法や病害虫防除についても紹介。菜園計画を立てるのに役立つ作付カレンダーも付いています。野菜づくりの入門書としてはもちろん、新しい知識を得たい経験者の方にもぴったりです。



農の雇用事業（教育研修費助成・指導者研修費助成）・雇用就農資金」関係図書

令和5年4月
(一社)全国農業会議所出版部

農の雇用事業では、研修生の各種資格取得に向けた図書の購入費のほか、指導者や経営者が人材育成・労務管理等の向上に必要な図書の購入費も助成対象となっています。

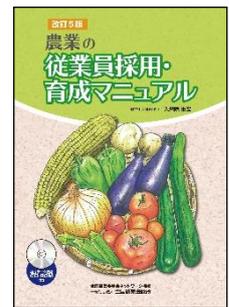
指導者や経営者には、人材育成や労務管理だけでなく簿記・青色申告、税制、マーケティング等に関する図書にも目を通して資質向上に努め、指導にあたることを求められます。研修生は、OJT研修のほか、座学研修、自己研さんを通じて獲得した知識と技術を「日本農業技術検定」等の検定試験を通じて確認することが必須・推奨されており、過去問題集を活用した受検対策が有効です。

I. 指導者研修費の助成対象となる図書（指導者・経営者向け）

1. 人材育成・労務管理関係

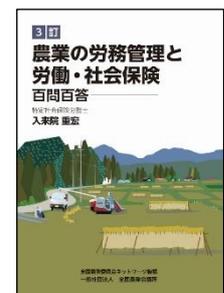
① 改訂5版 農業の従業員採用・育成マニュアル（31-34、4,200円） CD-ROM付き

農業の従業員の採用や育成に関する実務的なマニュアル書。第5版では、働き方改革なども解説。申告書、変更届、関連資料等も最新のものとしました。正社員のほか、パートタイマー、研修生、外国人技能実習生、出向等など、雇用に関するすべての事項について網羅していますので、広くご活用ください。著者は、特定社会保険労務士の入来院重宏氏。



② 3訂 農業の労務管理と労働・社会保険 百問百答 (R04-22、1,650円)

労働条件の決定と就業規則の作成、安全衛生や福利厚生を含む労務管理全般について解説。労働・社会保険の基本的な仕組みと手続きも充実させた一問一答集です。



2. 経営関係

(※ 研修実施計画の内容と関連している場合に限り助成対象となりますので、ご留意下さい)

① 3訂 複式農業簿記実践テキスト (R04-26、1,700円)

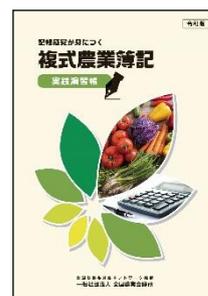
簿記帳のイロハから実務まで網羅した手引書。特に学習のヤマ場といわれる「仕訳」で多くの仕訳例を掲載。今回の改訂では、農業経営基盤強化準備金を取り崩して固定資産を購入する場合の設例を法改正に合わせて修正し、所得税青色申告決算書を最新様式に差し替えて記入例を更新しました。



② 令和版 記帳感覚が身につく 複式農業簿記実践演習帳

(R03-08、420 円)

「令和版『わかる』から『できる』へ 複式農業簿記実践テキスト」に対応した実践的な演習帳。テキストによる学習と併せて演習問題にチャレンジすることで、学習効果が飛躍的に高まります。テキストの対応ページを記載した問題と解答を本冊に収録。別冊の解答用紙は切り離して利用できます。



③ はじめてのパソコン農業簿記 改訂8版

ソリマチ (株)「農業簿記 11」 体験版 CD-ROM 付 (31-36、3,000 円)

ソリマチ (株) の農業簿記ソフト「農業簿記 11」に対応した最新版。前半で簿記の基本、後半でパソコン簿記を学習できるよう構成した演習用テキストで、パソコン簿記を始めたい人に最適の入門書です。パソコン初心者のためにマウスやキーボードなど機器の名称や操作説明、入力用ローマ字表も掲載しています。



④ 2022 年版 勘定科目別農業簿記マニュアル 青色申告から経営改善につなぐ

(R04-16、2,160 円)

企業会計に即して記帳する場合のポイントを勘定科目ごとに整理。「わからないとき」に必要な部分が参照しやすく、農業簿記の“辞典”として活用できます。記帳の中から自己の経営をチェックする方法も解説した本書は、経営の改善につながる農業簿記の実務書や研修会のテキストに最適です。最新の申告書や決算書に基づく記入例も掲載。執筆者は税理士の森剛一氏。



⑤ 令和4年度版 よくわかる農家の青色申告 (R04-08、900 円)

青色申告制度、申告の手続き、記帳の実務、確定申告書の作成から申告までを網羅、各種様式の記入例をまじえて、ていねいに解説した最新版の入門書です。

令和4年度版は、農業経営基盤強化準備金の対象者を人・農地プランの中心経営体とするなどの制度改正を反映。確定申告書の様式変更に伴う記載例・説明も見直しています。



⑥ 令和4年度版 農家のためのなんでもわかる農業の税制 (R04-07、1,140円)

農業収入や農地等に係る所得税、法人税、相続税、贈与税のほか、消費税とその軽減税率制度の概要と解説も掲載。農業関係の税金を、農地集積・集約化、後継者対策など経営発展を後押しする特例措置など最新の税制を網羅して、わかりやすく解説しています。



⑦ 実践型農業マーケティング 平岡 豊 著 (18-20、837円)

「農業マーケティングを成功させるには、経営形態と目指すべき方向を見極めて、適切な顧客層と流通チャンネルを明確にすること」(第1章マーケティングの基礎知識より)。農業分野におけるマーケティングの第一人者・平岡豊氏が、フィールドワークによって得た実例を紹介し、実践的な農業のマーケティングについて述べています。



II. 教育研修費の助成対象となる図書

日本農業技術検定関係

日本農業技術検定過去問題集 (4月12日刊行予定)

日本農業技術検定は、農業についての知識・技能の習熟度を測ることができる検定試験として、学生から社会人まで幅広く活用されており、雇用就農資金事業では研修期間中に研修生が日本農業技術検定を受験することが推奨されています。以下の過去問題集には、各年度に実際に出題された問題と現役教師や専門家による解説を掲載しています。検定試験の概要や、申し込み方法、勉強の仕方なども盛り込んでいます。

① 2023年版 日本農業技術検定 過去問題集 3級

(R05-01 1,100円)

2022・2021・2020年度に行われた試験問題5回分と、現役教師による解説を掲載しています。



② 2023年版 日本農業技術検定 過去問題集 2級

(R05-02 1,100円)

2022年度に行われた試験問題2回分と、現役教師による解説を掲載しています。



Ⅲ. 研修テキスト（雇用就農資金が対象）

農業の雇用シリーズ

本シリーズは農業法人等の経営者・指導者を対象とした研修向けの教材であり、従業員の採用から労務管理、保険加入、就業規則、給与計算、人事評価まで、テーマごとの分冊で分かりやすくまとめたものです。農業会議が実施する指導者養成研修会の研修テキストとしてご活用ください。

- ①農業の雇用シリーズ1 初めての従業員採用（R02-37、320円）
- ②農業の雇用シリーズ2 初めての労務管理 第6版（R04-34、440円）
- ③農業の雇用シリーズ3 初めての労働保険・社会保険（R03-32、450円）
- ④農業の雇用シリーズ4 初めての就業規則（R02-38、750円）
- ⑤農業の雇用シリーズ5 初めての給与計算（R02-20、590円）
- ⑥農業の雇用シリーズ6 初めての人事評価制度（R03-33、320円）

